

令和元年度 年報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

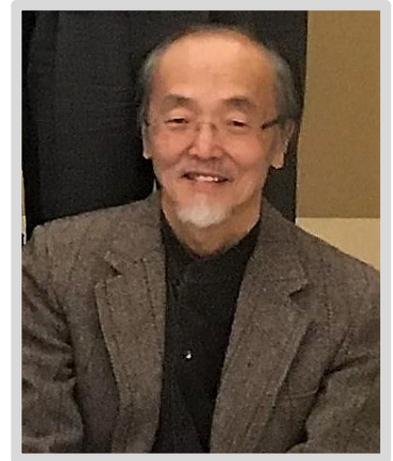
川西赤十字病院

困難な時代に温故知新

個人の人生でもそうですが、国や社会の歴史においても、突然の事故や災害で、何が重要なことなのか気づく瞬間があります。

ジョン・ダワー（折々のことば、2020/9/20 朝日新聞）

2020（令和2）年は、新型コロナウイルス感染症 COVID-19 に始まりこれが継続する中で次の年度を構想するという、かつてない新しい事態である。歴史をひも解けば、近くは2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災。東北地方太平洋沖地震による災害およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故という未曾有の事態であった。防災の日の制定は、1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災に由来し、死者・行方不明者105,000人を出し、首都東京に壊滅的ダメージを与え、歴史の方向を変えたと考えられる未曾有の災害であった。自然災害や戦争が社会に与える影響は枚挙にいとまなく、赤十字社はまさにそこから発想され設立され、幾多の災害や戦禍の中で人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性という7つの基本原則を共有し活動する世界最大の人道支援ネットワークとなった。



川西赤十字病院
院長 大和 眞史

川西赤十字病院の母体は、昭和6年（満州事変勃発）に川西地方9カ村が設立した川西連合組合伝染病院にある。コレラやチフスなど伝染病への対応のために、地域が知恵と土地とお金を出しあって病院を開設したことが読み取れ、今日の COVID-19 パンデミックの時代と呼応するものを感じる。「小諸北佐久医師会百年史」によれば、

従来川西地方において伝染病患者発生の際は、各村毎の伝染病隔離室に収容して之が対策を遂行し来るも、昭和6年6月9日、本牧村村長佐塚清助は、川西地区隣村（協和村、春日村、布施村、南御牧村、五郎兵衛新田村、芦田村、三都和村、横鳥村）に呼びかけて、川西伝染病院組合を結成、自ら組合長となり地元本牧村の土地1,000坪を寄付し、経費11,191円（但し三分の一は県費補助）をかけて、此処に川西連合組合伝染病院が誕生した。当時この事業は医療施設の白眉とされ、北佐久郡志においても「県下に誇り得るべき模範病舎」と記されている。

昭和7年9月2日川西伝染病組合は前記川西連合伝染病院に一般患者の収容を計画し、県知事に病名変更承認の件を申請、同年9月19日許可。川西連合病院と改称し、伝染病患者の収容を兼ねて一般患者の診療及び収容を開始する。

当院の医療圏は川西地方；佐久市望月・浅科、立科町、東御市北御牧の人口約2万7000人である。少子高齢化が進んで高齢化率35%であり、日本の中山間地域に共通する人口減少と過疎化が進む地域である。国は、団塊の世代がすべて後期高齢者入りする2025年に向けて、2015年から地域医療構想を掲げ

種々のデータを提示して、地域の実情と需要に合った医療介護福祉の資源の在り方について議論を深め、再構築を進めるよう施策を示してきた。昨年9月には、15項目の評価指標で計測されたデータから、再編統合を再検証すべき公立公的424病院のリスト（当院を含む）が提示され、マスコミにも大きく取り上げられた。その結果、地域住民や自治体や医療関係者などによって、地域の生活を支える重要な柱である医療をどのように守っていくか、真剣な議論が交わされた。

病院は20を越える専門職と経営管理する総合職が一つの組織をなし、入院・外来・救急・在宅部門や診療機器を有機的に配置した病院建物の中で、医療事故と医療関連感染を防ぎながら、すべての患者に対して安全安心かつ適切で最新であるよう、細心の注意を払って医療提供されなければならない。またすべての職員が向上し満足できるよう評価され育成されねばならない。そうした病院の多岐にわたる日々の営為を記録にとどめ、地域医療構想やCOVID-19など時代を画する課題に対処しながら前進する自院の姿を振り返ること（省察 reflection）が重要である。

このパンデミックであぶりだされてきた人類の課題は、国連が掲げる Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標、SDGs）に総括されているように考えられる。国連は、The Sustainable Development Goals: Our Framework for COVID-19 Recovery と標語を掲げている。

“17 Goals to Transform Our World” The Sustainable Development Goals are a call for action by all countries – poor, rich and middle-income – to promote prosperity while protecting the planet. They recognize that ending poverty must go hand-in-hand with strategies that build economic growth and address a range of social needs including education, health, social protection, and job opportunities, while tackling climate change and environmental protection. More important than ever, the goals provide a critical framework for COVID-19 recovery.

SDGs、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけている。

これら17の目標は、ミレニアム開発目標（MDGs）の成功を土台としつつ、気候変動や経済的不平等、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込んでいます。ある目標を達成するためには、むしろ別の目標と広く関連づけられる問題にも取り組まねばならないことが多いという点で、目標はすべて**相互接続的**といえます。SDGsは、パートナーシップと実用主義の精神に基づき、いま正しい選択をすることで、将来の世代の暮らしを持続可能な形で改善することを目指します。すべての国がそれぞれの優先課題や、全世界的な環境課題に応じて採用できる明確なガイドラインやターゲットも設けられています。SDGsは包摂的なアジェンダとして、貧困の根本的な原因に取り組むとともに、人間と地球の両方にとってプラスとなる変化の実現に向け、私たちを団結させるものとなっています。

持続可能な開発目標（SDGs）は2012年、リオデジャネイロで開催された国連持続可能な開発会議（リ

オ+20)で議論が始まりました。その目的は、私たちの世界が直面する喫緊の環境、政治、経済の課題に取り組む一連の普遍的目標を策定することにあります。

SDGsは、人間の尊厳を奪う貧困へのグローバルな取り組みとして2000年にスタートしたミレニアム開発目標(MDGs)の後継となる目標です。MDGsは、極度の貧困と飢餓への対策、致命的な病気予防、すべての子どもへの初等教育普及を始めとする開発優先課題に関し、普遍的な合意に基づく測定可能な目標を定めました。所得貧困の削減、肝心な水と衛生へのアクセス提供、幼児死亡率の引き下げ、妊産婦の健康の大幅な改善など、いくつかの重要な分野で15年間にわたり、MDGsは前進の原動力となりました。また、無償の初等教育を求めるグローバルな運動も活発化させることで、各国に将来の世代への投資を働きかけました。最も重要なのは、MDGsがHIV/エイズのほか、マラリアや結核など、治療可能な病気への対策を大幅に前進させたことです。

時の流れの中で生じた出来事の今に対する意味を考え、世界の広がりの中で英知の向くところとその所産を知って、目の前の問題の解決を探ることが「温故知新」の今日的意味であろう。この知的活動を生かすためには、自分が直面している現実を時の流れに沿って記載し、客観化して共有する中で、記憶を確かなものにしておかななくてはならない。長野県東部の川西地方で27,000の住民の健康を守る日々の営為を記載することから始めたい。

成変化と
真実

基本理念・基本方針・患者の権利

基本理念

赤十字の原則に基づき「人道」の精神で、地域住民とともに生きている喜びをわかちあえる医療を行います。

基本方針

1. 地域医療を中心に、健康管理から在宅ケアまで一貫した医療を行います。
2. 患者様の安心と信頼が得られ、満足のいただける医療を目指します。
3. 赤十字精神のもとに、災害救護、保健衛生活動など社会活動を行います。
4. 健全経営に取り組み、医療活動の安定を目指します。
5. 職員は研鑽に励み、質の高い医療を目指します。

患者様の権利の尊重

次に掲げる患者様の権利を尊重いたします。

1. 人間の尊厳が守られる権利
2. 適切な医療を受ける権利
3. プライバシーを尊重される権利
4. 医療の情報、説明を受ける権利
5. 医療行為を選択する権利

看護部理念・活動方針

理念

私たちは高い倫理観に基づいた信頼される看護・介護を提供し、人々の苦痛の軽減と回復力を高められるよう支援します。

活動方針

- ・ 尊厳と意思を尊重し、その人らしい生活ができるよう支援します。
- ・ 安全・安楽を基本に、安心される看護を提供します。
- ・ 経済性を考慮した生産性の高い看護を提供します。
- ・ 地域との連携を推進し、地域に根ざした看護を行います。
- ・ 看護専門職として自己研鑽し看護の質向上に努めます。

目 次

I 沿革

- 1. 沿革・・ 2
- 2. 歴代幹部職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3. 川西赤十字病院運営審議会委員および幹事・・・・・・・・ 5

II 概要

- 1. 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2. 1年間の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 3. 建物配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 4. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 5. 特殊診療機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 6. 特殊診療等指定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 7. 施設基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 8. 委員会活動記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 9. 施設工事・医療機器整備の状況・・・・・・・・・・・・・・ 40

III 部門別概要

- 1. 診療部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
- 2. 診療支援部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- 3. 看護部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
- 4. 医療社会事業部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
- 5. 事務部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

IV 統計

- 1. 患者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- 2. 経営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
- 3. 労働災害事故状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

V 職員活動

- 1. 福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
- 2. 教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

VI 学術成績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86

VII 災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90

I 沿革

1. 沿革

昭和 6 年 6 月	北佐久郡本牧村外 8 ヲ村「川西連合組合伝染病院」設立
昭和 7 年 9 月	北佐久郡本牧村外 8 ヲ村組合立「川西連合病院」改称・開設
昭和 23 年 5 月	日本赤十字社長野 県 支部に運営を移管 (33 床)
昭和 32 年 1 月	一般病棟改築工事 (木造) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 42 年 4 月	伝染病棟改築工事 (鉄筋) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 43 年 12 月	一般病棟一部改築工事 (鉄筋) (一般 71 床・伝染 12 床)
昭和 56 年 4 月	伝染病棟の統廃合により廃止 (一般 71 床)
昭和 59 年 3 月	一般病棟一部改築工事 (一般 80 床)
昭和 60 年 4 月	開設許可事項の変更許可 (一般 71 床)
昭和 61 年 10 月	一般病棟改築工事完成 (鉄筋) (一般 97 床)
昭和 62 年 6 月	人間ドック開始
平成 1 年 9 月	眼科開設
平成 2 年 11 月	訪問看護実施
平成 4 年 9 月	出張診療開始 (望月町春日診療所)
平成 8 年 12 月	訪問看護ステーション開設
平成 10 年 3 月	無菌手術室 (クリーンルーム) 改築工事
平成 11 年 9 月	指定居宅介護支援事業者認定
平成 12 年 3 月	南棟増築工事 (救急治療室・リハビリ室)
平成 13 年 10 月	院外処方箋開始
平成 15 年 10 月	病院開設許可事項の変更 (一般 48 床・療養 36 床)
平成 20 年 12 月	レセプトオンライン請求開始
平成 25 年 11 月	病院開設許可事項の変更 (一般 37 床・療養 47 床)
平成 27 年 1 月	地域包括ケア病床導入 (8 床)
平成 27 年 6 月	地域包括ケア病床増床 (13 床)
平成 28 年 8 月	地域包括ケア病床増床 (17 床)
平成 30 年 10 月	病院開設許可事項の変更 (一般 51 床・療養 33 床)
	地域包括ケア病床増床 (25 床)
令和 元年 10 月	地域包括ケア病床増床 (30 床)
令和 2 年 1 月	在宅療養支援病院認定

2. 歴代幹部職員

役職名	代数	氏名	期間
院長	第 1 代	桜井 秀雄	昭和 23 年 7 月 24 日 ～ 昭和 24 年 10 月 30 日
	第 2 代	加藤 又三	昭和 24 年 11 月 1 日 ～ 昭和 31 年 3 月 23 日
	第 3 代	宮澤 博	昭和 31 年 3 月 24 日 ～ 昭和 33 年 2 月 17 日
	第 4 代	百瀬 滋男	昭和 33 年 2 月 18 日 ～ 昭和 36 年 6 月 25 日
	第 5 代	池上 文哉	昭和 36 年 6 月 26 日 ～ 昭和 39 年 5 月 31 日
	第 6 代	柳沢 昭吾	昭和 39 年 6 月 1 日 ～ 昭和 44 年 12 月 31 日
	第 7 代	大沢 智昭	昭和 45 年 4 月 1 日 ～ 昭和 48 年 4 月 30 日
	第 8 代	宮下 富士弥	昭和 48 年 6 月 15 日 ～ 昭和 49 年 5 月 31 日
	第 9 代	下村 藤男	昭和 49 年 7 月 1 日 ～ 昭和 57 年 3 月 31 日
	第 10 代	木下 秀雄	昭和 57 年 4 月 1 日 ～ 昭和 61 年 9 月 30 日
	第 11 代	青木 猛	昭和 61 年 10 月 1 日 ～ 昭和 62 年 3 月 31 日
	第 12 代	西澤 啓治	昭和 62 年 4 月 1 日 ～ 昭和 63 年 3 月 31 日
	第 13 代	渡辺 厚	昭和 63 年 4 月 1 日 ～ 平成 元年 3 月 31 日
	第 14 代	鈴木 完治	平成 2 年 1 月 1 日 ～ 平成 8 年 3 月 31 日
	第 15 代	大塚 満州雄	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
	第 16 代	大内 悦雄	平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
	第 17 代	田村 泰夫	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 18 代	大和 眞史	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
副院長	第 1 代	宮沢 博	昭和 30 年 7 月 1 日 ～ 昭和 31 年 3 月 23 日
	第 2 代	百瀬 滋男	昭和 31 年 3 月 24 日 ～ 昭和 33 年 2 月 17 日
	第 3 代	池上 文哉	昭和 34 年 5 月 1 日 ～ 昭和 36 年 6 月 26 日
	第 4 代	荻原 昭	昭和 36 年 6 月 21 日 ～ 昭和 39 年 3 月 31 日
	第 5 代	下村 藤男	昭和 40 年 3 月 27 日 ～ 昭和 49 年 6 月 30 日
	第 6 代	木下 秀雄	昭和 54 年 3 月 1 日 ～ 昭和 57 年 3 月 31 日
	第 7 代	渡辺 厚	昭和 63 年 1 月 1 日 ～ 昭和 63 年 3 月 31 日
	第 8 代	鈴木 完治	平成 元年 4 月 1 日 ～ 平成 元年 12 月 31 日
	第 9 代	大内 悦雄	平成 10 年 2 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
	第 10 代	米倉 宏明	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
事務部長	第 1 代	藤沢 大七	昭和 31 年 8 月 31 日 ～ 昭和 36 年 12 月 30 日
	第 2 代	田中 武一	昭和 37 年 1 月 1 日 ～ 昭和 40 年 4 月 1 日
	第 3 代	杉浦 福男	昭和 40 年 4 月 1 日 ～ 昭和 41 年 4 月 11 日
	第 4 代	芦田 泰	昭和 46 年 8 月 1 日 ～ 平成 4 年 1 月 31 日
	第 5 代	中山 恵暢	平成 4 年 2 月 1 日 ～ 平成 7 年 12 月 31 日
	第 6 代	高畑 實	平成 8 年 1 月 1 日 ～ 平成 8 年 2 月 28 日
	第 7 代	依田 久	平成 8 年 2 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
	第 8 代	今井 昭彦	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日
	第 9 代	竹花 英夫	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日
	第 10 代	西谷 圭一	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 8 月 31 日
	第 11 代	佐藤 龍彦	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
	第 12 代	小須田 弘之	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 13 代	小林 雅弘	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現職

役職名	代数	氏名	期間
看護部長	第 1 代	元矢 富美子	平成 5 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
	第 2 代	坂口 直子	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
	第 3 代	若林 貞子	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
	第 4 代	竹村 幸子	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
	第 5 代	小林 厚子	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
	第 6 代	小山 幹子	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
	第 7 代	水内 豊	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現職

3. 川西赤十字病院運営審議会委員および幹事

委 員

職 名	氏 名
佐久市長	柳 田 清 二
東御市長	花 岡 利 夫
立科町長	両 角 正 芳
佐久市議会議長	神 津 正
東御市議会議長	横 山 好 範
立科町議会議長	森 本 信 明
川西保健衛生施設組合長	花 岡 利 夫
川西保健衛生施設組合議長	大 塚 雄 一
佐久大学学長（会長）	堀 内 ふ き
こやまクリニック院長	小 山 實
日本赤十字社長野県支部事務局長	清 水 深
川西赤十字病院長（副会長）	大 和 眞 史

幹 事

職 名	氏 名
佐久市健康づくり推進課長	渡 辺 孝 治
東御市健康保健課長	小 松 信 子
立科町町民課長	市 川 清 美
川西保健衛生施設組合事務局長	加 藤 忠 好
日本赤十字社長野県支部事業推進課長	山 崎 慎 哉
川西赤十字病院事務部長	小 林 雅 弘

II 概 要

1. 施設概要

名 称：川西赤十字病院

所 在 地：長野県佐久市望月 3 1 8

診 療 科 目：内科・消化器科・循環器科・リウマチ科・外科・整形外科・眼科・
リハビリテーション科・泌尿器科

許 可 病 床 数：8 4 床（一般 5 1 床（地域包括ケア病床 3 0 床）・療養 3 3 床）

不 動 産：土地 7,730.95 m²

【内訳】

日赤所有地 2,108.66 m²

借 用 地 5,622.29 m²

建物 4,224.180 m²

【内訳】

日赤所有建物 3,987.830 m²

借 用 地 236.350 m²

2. 1年間の歩み

【平成31年】

4月	1日	入社式・辞令交付式 新院長着任式（院長・看護部長・事務部長3役交代）
	12日	職員互助会歓迎会
	15日	全国赤十字病院新任医療施設長研修
	16日	全国医療施設長会議、病院長連盟総会
	22日	全国赤十字病院新任看護部長研修
	23日	全国赤十字病院看護部長会議
	24日	長野県支部事務部長会議
	25日	全国赤十字病院新任事務部長研修
	26日	全国赤十字病院事務部長会議

【令和元年】

5月	1日	新元号「令和」施行
	7日	職員永年勤続表彰
	13日	長野支部予備的監査（支部）
	14日	関東信越厚生局適時調査
	15日	長野支部予備的監査（公認会計士）
	16日	職員学習会「2019 経営改善のポイント医療施設の経営の健全化：大和院長」、「就業規則の改正：総務課」（52名）
20～21日		望月中学校職場体験（2名）
	21日	佐久平地域病院連絡会
	24日	中部ブロック赤十字病院院長 web 会議 長野県佐久医療圏地域医療構想調整会議（第8回）
	29日	長野県支部監査院監査
	30日	外部講師による職員学習会（51名） 「倫理的課題における病院の課題：医療事業推進本部 矢野真氏」 「若月イズムと佐久病院、佐久の医療状況：佐久総合病院 統括院長 伊澤敏氏」
	31日	日本赤十字社院長塾
6月	6日	病院協議会東信ブロック会議 職員学習会「感染防止対策の基本①：院内感染対策委員会」（45名）
	8日	長野県支部合同救護訓練
	10日	職員学習会「感染防止対策の基本②：院内感染対策委員会」（13名）
	13日	職員学習会「感染防止対策の基本③：院内感染対策委員会」（25名）
	14日	職員互助会ボーリング大会

- 18日 長野県支部評議員会・業務連絡会議
- 20日 中部ブロック看護部長会議
- 22日 長野県看護協会定時総会
- 29日 東信地区看護連携会議、看護協会佐久支部集会
- 7月 3日 東信院内感染対策研究会幹事会
- 5~6日 中部ブロック病院長会議（金沢市）
- 11日 職員学習会「インシデントレポート報告等①：MRM委員会」（46名）
- 18日 職員学習会「インシデントレポート報告等②：MRM委員会」（19名）
- 20日 県在宅療養支援リーダー事業研修
- 25日 川西保健衛生施設組合議会議員視察
- 8月 1日 病院祭リーダー会
- 6日 高校生一日看護師体験（1名）
- 8日 指定居宅サービス事業実地指導
- 15日 榊祭り参加
- 19日 宮島素子医師（内科部長）採用 常勤医師3名体制に
- 22日 川西保健衛生施設組合決算審査
職員学習会「交通法規等：佐久警察署交通課：竜野氏」（42名）
- 24日 県在宅療養支援リーダー事業研修
- 29日 佐久市保健福祉行政懇談会
- 9月 5~6日 東日本赤十字病院事務部長会（岐阜市）
- 7日 川西消防署・川西赤十字病院合同救急法講習会（23名）
- 12日 日赤本社支援病院経営改善検討会（web）
- 17日 病院祭 リーダー会
- 19日 職員学習会「週休2日に係る勤務時間等：総務課」（37名）
- 20~21日 中部ブロック副院長会議（高山市）
- 25日 CT装置入れ替え
- 26日 再編の検討を求めた公立・公的病院424病院公表（厚労省）
- 10月 1日 タイムレコーダー導入
近藤泰之医師（内科副部長）採用 常勤医師4名体制に
地域包括ケア病床30床に増床（5床増）
職員学習会「摂食嚥下の評価の流れ：佐久総合病院摂食嚥下認定看護師上野静香氏」（37名）
- 2日 院長・事務部長・看護部長会議「地域医療構想公表の経過と今後の対応等について：本社」
- 4日 川西消防署意見交換会
- 6日 長野県看護部長会研修会
- 7日 地域医療構想「佐久地区対象3病院：意見交換会」
- 10~11日 病院長連盟定期「秋期」総会（大津市）

		中部ブロック総務人事等研究会（諏訪市）
		立科中学校 2 学年職場体験（2 名）
12 日		完全週休 2 日制移行
		台風 19 号、関東地方や甲信地方などで記録的な大雨により甚大な被害
21 日		久米典彦医師（医療技術部長）採用 常勤医師 5 名体制に
21 日		職員学習会「インフルエンザ対策①：院内感染対策委員会」（49 名）
23～24 日		浅科中学校 2 学年職場体験（2 名）
24 日		職員学習会「インフルエンザ対策②：院内感染対策委員会」（19 名）
26 日		病院祭中止「台風 19 号の豪雨による災害の発生により」
29 日		地域医療構想「厚労省意見交換会」（関東信越会場）
29～30 日		立科中学校 3 学年福祉体験（2 名）
30 日		日本赤十字社事務部長塾（本社）
30～		台風 19 号災害 長野・須坂地域「救護班」派遣（6 名）
11 月	～1 日	台風 19 号災害 長野・須坂地域「救護班」派遣（6 名） 嚙下造影検査開始 職員学習会「下半期へのキックオフ：大和院長」（44 名）
	5 日	佐久保健所立入り調査：薬剤部 佐久市保健医療等連携会議
	6 日	佐久平地域病院連絡会議
	7 日	佐久保健所立入り調査
12 日		職員学習会「嚙下障害に対する検査とアプローチ：諏訪日赤リハビリテーション部長巨島文子氏」（40 名）
14 日		職員学習会「インスリン注射のリスクマネジメント①：日本イーライリリー(株)福岡洋氏」（44 名） 川西地域連携医の集い
	15 日	NPO 法人「未来工房もちづき」地域医療学習会
	16 日	日本病院会県支部評議会
17～19 日		台風 19 号災害 長野・須坂地域「心のケアチーム」派遣（6 名）
	19 日	佐久地域医療圏構想調整会議
	20 日	運営審議会幹事会
	21 日	職員学習会「インスリン注射のリスクマネジメント②：（25 名） 「川西赤十字病院存続と充実を求める陳情書」提出 佐久市議会等に対し：NPO 法人「未来工房もちづき」
	26 日	
	29 日	日本赤十字社院長塾
12 月	9 日	台風 19 号災害派遣「救護班・心のケアチーム」活動報告（40 名）
	10 日	中部ブロック赤十字病院長 web 会議
	19 日	患者クリスマス会
	20 日	「川西赤十字病院存続と充実を求める意見書」可決 佐久市議会 ホームページリニューアル
	23 日	オクレンジャー利用開始
	27 日	仕事納め

【令和2年】

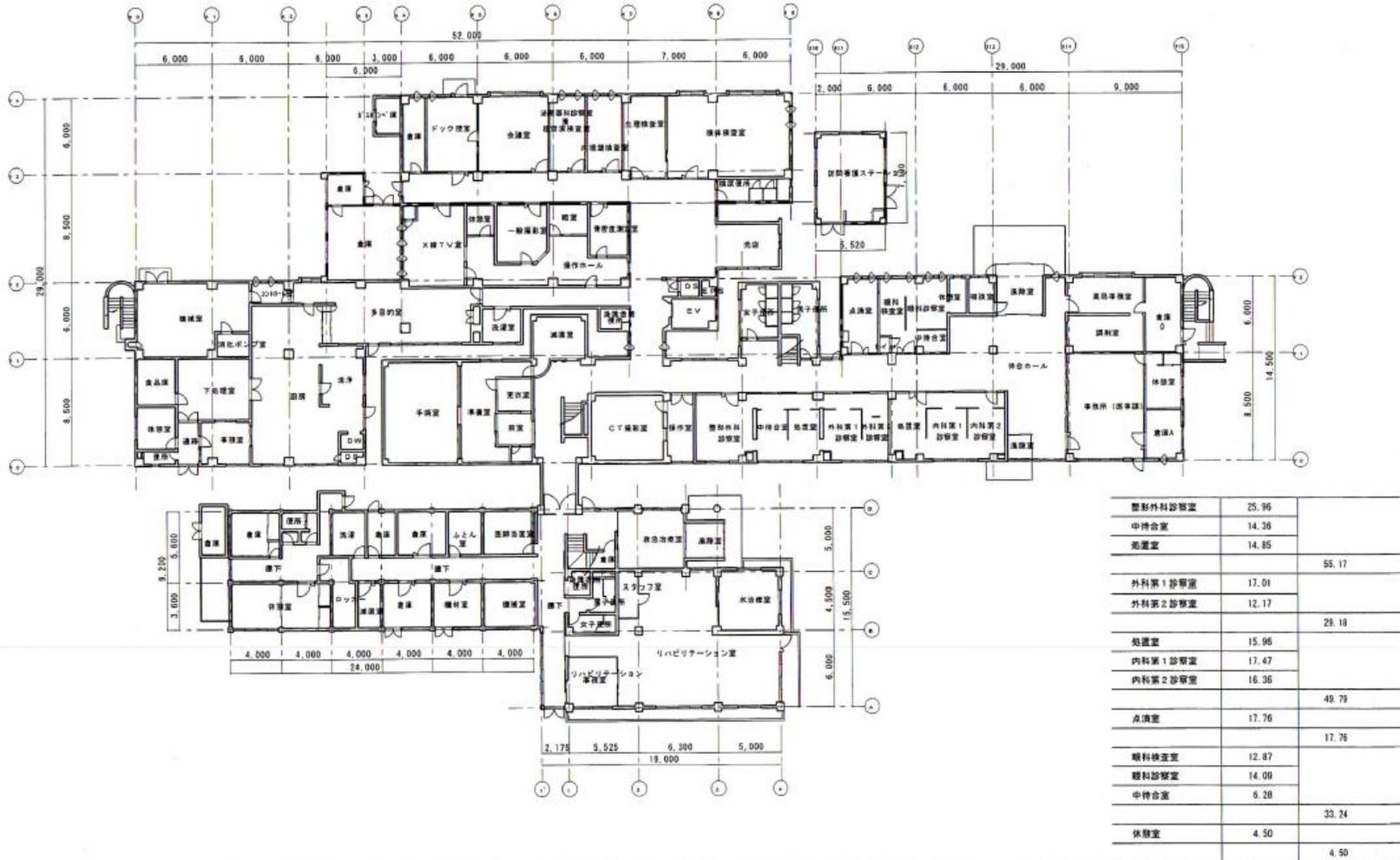
- 1月
- 在宅療養支援病院認定
- 6日 仕事始めの式
- 中国武漢で原因不明の肺炎 厚労省が注意喚起
- 11日 日本共産党「藤野保史」衆議院議員懇談会 再編統合の公表と地域を取巻く状況等について
- 14日 WHO「新型コロナウイルス」を確認
- 15日 「新型コロナウイルス」日本国内で初めて感染確認
- 16日 職員学習会「接遇：患者サービス委員会」（42名）
- 24日 職員互助会総会
- 28日 職員学習会「メンタルヘルス：ワークポート野菊の丘 新津薫氏」（49名）
- 30日 長野県佐久医療圏地域医療構想調整会議（第9回）
- WHO「新型コロナウイルス」国際的な緊急事態を宣言
- 2月
- 3日 「新型コロナウイルス」乗客の感染が確認されたクルーズ船横浜港に入港
- 7～8日 中部ブロック病院長会議（諏訪市）
- 10日 職員学習会「臨床倫理：水内看護部長」（40名）
- 12日 長野県支部評議員会・業務連絡会議
- 13日 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等にかかる説明会：本社
- 「新型コロナウイルス感染症」による日本国内で初めての死亡者
- 13～14日 中部ブロック看護部長会議
- 19日 居宅介護支援事業所実地検査
- 20日 職員学習会「褥瘡対策：ニュートリー(株)小林宏之氏」（32名）
- 25日 運営審議会
- 「新型コロナウイルス」長野県内で初めての感染者を確認
- 27日 安倍首相全国全ての小中高校に臨時休校要請の考え公表「新型コロナウイルス感染拡大に伴い」
- 3月
- 1日 医の倫理委員会施行
- 2日 佐久市 春休みに入るまで市内小中学校休校に「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」
- 6日 新型コロナウイルス感染対策訓練
- 13日 佐久市 市内小中学校卒業式規模縮小して実施に「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」
- 16日 東御市議会社会文教委員会視察「川西赤十字病院存続と充実を求める陳情書関連」（8名）
- 17日 地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会懇談会（5団体）
- 24日 東京五輪・パラリンピック 1年程度延期が決定
- 29日 志村けんさん「新型コロナウイルス感染症」による肺炎で死去
- 31日 退職者辞令、離別式

主な出来事（10大ニュース）

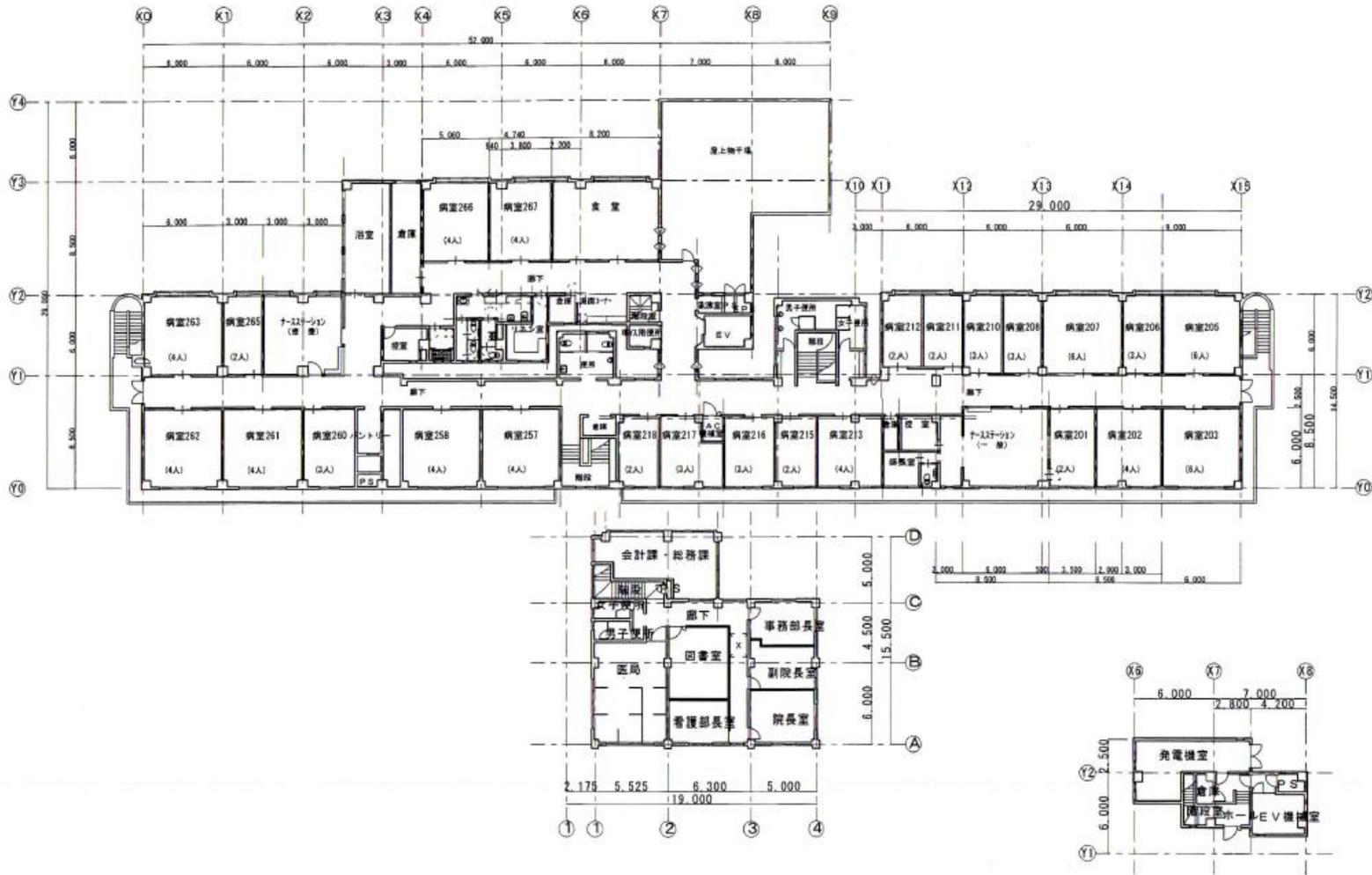
- ① 3年ぶりに経常赤字決算
- ② 院長・事務部長・看護部長3役交代
- ③ CT装置入れ替え
- ④ 常勤医5名体制
- ⑤ 平成25年からの応援医師返上
- ⑥ 『再検証要請』された公立・公的424病院の病院名公表
- ⑦ 台風19号災害に救護班・こころのケアチーム派遣
- ⑧ 地域包括ケア病床30床に増床
- ⑨ 週休2日制移行（眼科外来を残して）
- ⑩ タイムレコーダー導入



3. 建物配置図



備考	訂正	内容	TITLE	SCALE	DATE
			川西赤十字病院	S=1:300	H.27.12.11
			1階平面図	1級建築士事務所 長野県知事登録 佐久C第 82251号	DRAWING NO.
			(株)アート建築設計室	TEL (0267) 23-8551	INSPECT
			(ART)	FAX (0267) 23-8663	DRAWING
			長野県 小路市 与良町 1-1-5	1級建築士 第163952号 小林 豊博	



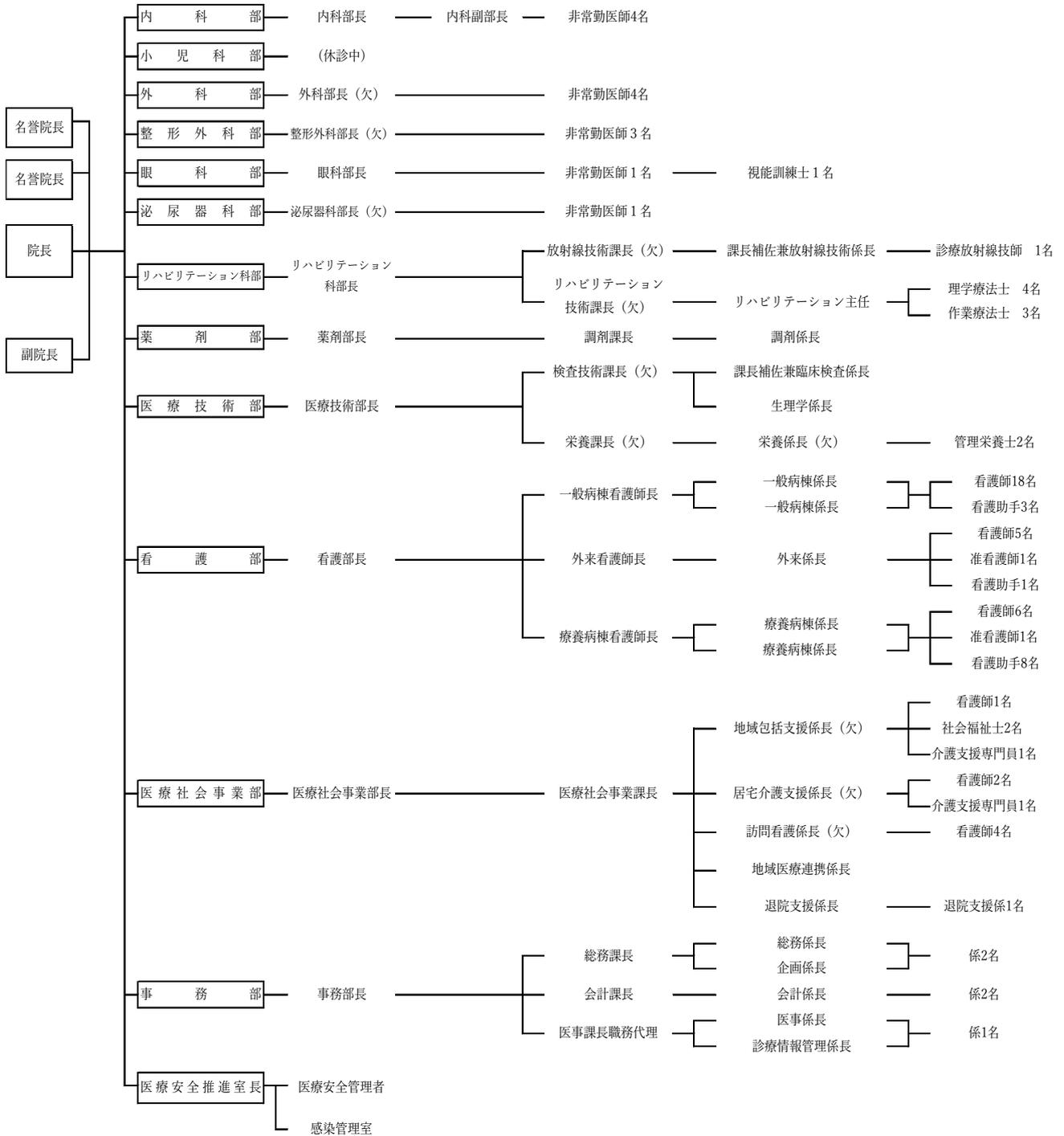
2 階 平 面 図

P. H 平 面 図

備 考	訂 正	内 容	TITLE 川西赤十字病院	SCALE S=1/300	DATE H. 27. 12. 11	
			SUBTITLE 2 階 平 面 図	1 級建築士事務所 長野県知事登録 後久C第 82251号	DRAWING NO	
			(株)アート建築設計室 長野県 小諸市 与良町 1-1-5	TEL (0267) 23-8551 FAX (0267) 23-8663	1 級建築士 第 1 6 3 9 5 2 号、 小林 雅博	INSPECT DRAWING

4. 組織図

組織図



各委員会名簿

各種委員会・ 部会・チーム	委員長 議長	幹事名	委員・メンバー				順不同
管理会議	大和眞史	小林雅弘	米倉宏明	小林雅弘	水内 豊	牧野勝則	平川香苗子
		内村辰徳	翠川郁代	東條美恵	内村辰徳	眞田哲也	
		(院長指名)	関沢 亘	坂戸 基	依田富士子	田中優彦	磯貝和也
業務連絡会議	小林雅弘	田中優彦	大和眞史	坂戸 基	倉島潤子	森泉ゆか	興石 恵
		小泉由香理	白石真紀	磯貝和也	滝沢亜矢	田中優彦	北澤俊和
薬事委員会	米倉宏明	牧野勝則	大和眞史	牧野勝則	眞田哲也	依田富士子	
院内感染対策委員会	水内 豊	小泉由香理	大和眞史	小林雅弘	牧野勝則	関澤 亘	興石 恵
			小泉由香理	中村美紀	武山尚樹	小笠沢幸子	田中優彦
栄養委員会	久米典彦	武山尚樹	平川香苗子	翠川郁代	倉島潤子	武山尚樹	
MRM委員会	米倉宏明	東條美恵	水内 豊	牧野勝則	翠川郁代	東條美恵	内村辰徳
		岩崎恭子	関沢 亘	坂戸 基	岩崎恭子	中村美紀	磯貝和也
		内村辰徳	武山尚樹				
検査精度委員会	米倉宏明	関澤 亘	関澤 亘	岩崎恭子	北澤俊和		
輸血療法委員会	米倉宏明	倉島潤子	倉島潤子	森泉ゆか	秋和好子		
診療情報管理 コーディング委員会	大和眞史	北澤俊和	平川香苗子	翠川郁代	森泉ゆか	依田富士子	北澤俊和
褥瘡対策チーム	大和眞史	興石 恵	興石 恵	中村美紀	森泉ゆか	山口直子	清水ひとみ
			島崎茂樹	武山尚樹			
安全衛生委員会	小林雅弘	田中優彦	(産業医) 田中優彦	大内悦雄	依田敦史	渡辺和美	西村圭子
広報委員会	小林雅弘	内村辰徳 北沢俊和	内村辰徳 北澤俊和	三井宏映	池田 緑	大井美幸	南澤礼佳
在宅医療推進委員会	米倉宏明	滝沢亜矢	東條美恵 丸山絵美子	滝沢亜矢 武山尚樹	白石真紀	山口直子	高橋まり子
病床管理委員会	米倉宏明	平川香苗子	大和眞史	水内 豊	平川香苗子	翠川郁代	東條美恵
		東條美恵	滝沢亜矢	西村圭子	依田敦史	依田富士子	
		依田富士子					
患者サービス委員会	水内 豊	相良真由美 三井宏映	相良真由美 福島亜実	三井宏映 成澤正子	関 和子 雨宮洋平	土屋みどり 北澤俊和	牧野綾子
購買委員会	小林雅弘	眞田哲也	大和眞史 東條美恵	水内 豊 内村辰徳	牧野勝則 眞田哲也	平川香苗子	翠川郁代
医療ガス安全管理委員会	大和眞史	眞田哲也	眞田哲也 (外部委員)	岩崎恭子 岡谷酸素	中村美紀	依田葉都江	
将来構想委員会	大和眞史	小林雅弘	米倉宏明	小林雅弘	水内 豊	牧野勝則	平川香苗子
		内村辰徳	翠川郁代	東條美恵	内村辰徳	眞田哲也	依田富士子
病院機能評価受審検討委員会	宮島素子	牧野勝則 内村辰徳	小林雅弘 中村美紀	関澤 亘 三井宏映	東條美恵 梅澤達也	眞田哲也	小泉由香理
電子カルテ導入検討委員会	水内 豊	依田富士子 興石 恵	宮島素子 北澤俊和	坂戸 基	倉島潤子	森泉ゆか	滝沢亜矢
健診委員会	米倉宏明	北澤俊和	倉島潤子	三井宏映	中村美紀	北澤俊和	
医の倫理委員会	大和眞史	内村辰徳 田中優彦	(副委員長)	米倉宏明			
			久米典彦	小林雅弘	水内 豊	牧野勝則	
			(院外委員)	田村泰夫	工藤絹子		
医の倫理委員会幹事会 (臨床倫理コンサルテーション)	米倉宏明	内村辰徳 田中優彦	宮島素子	平川香苗子	翠川郁代	磯貝和也	

職種別職員数

令和2年3月31日現在

職種	正規	常勤 嘱託	パート	適用外	合計	性別	
						男	女
医師	5				5	4	1
薬剤師	2				2	1	1
管理栄養士	2				2	1	1
診療放射線技師	2				2	2	
臨床検査技師	2				2	1	1
理学療法士	4				4	2	2
作業療法士	4				4	3	1
看護師（外来・病棟）	38		1		39	1	38
准看護師	2				2		2
事務員	9	2		1	12	7	5
看護助手	9	1	2		12	1	11
包括	看護師	1	1		2		2
	社会福祉士	2			2		2
訪問看護	看護師	8			8		8
	介護支援専門員	1			1		1
	社会福祉士	1			1		1
合計	92	4	3	1	100	23	77

5. 特殊診療機能

人間ドック

6. 特殊診療等指定状況

保険医療機関（県）、労災保険指定病院（国）、覚せい剤施用機関（県）、
戦傷病者特別援護法指定病院（国）、生活保護法医療機関（県）、
公的医療機関指定病院（国）、結核予防法医療機関（県）、救急告示指定病院（県）

7. 施設基準の届出状況（令和2年4月現在）

急性期一般入院料4、療養病棟入院基本料1、
地域包括ケア病棟入院医療管理料1（看護職員配置加算あり）、救急医療管理加算、
診療録管理体制加算2、重症者等療養環境特別加算、療養病棟療養環境改善加算1、
医療安全対策加算2（医療安全対策地域連携加算2あり）、感染防止対策加算2、
後発医薬品使用体制加算1、データ提出加算、入院時食事療養費(I)、入院時生活療養(I)、
がん治療連携指導料、在宅患者訪問褥瘡管理指導料、薬剤管理指導料、
検体検査管理加算（II）、CT撮影及びMRI撮影、脳血管リハビリテーション料（II）、
運動器リハビリテーション料（III）、呼吸器リハビリテーション（I）、
輸血管管理料2、適正使用体制加算、認知症ケア加算2、
入退院支援加算1（総合機能評価加算・地域連携診療計画加算あり）
地域連携診療計画加算、小児外科外来診療料、
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）
に掲げる手術、在宅療養支援病院 別添1の「第14の2」の1の(3)、
在宅時医学総合管理料及び施設入所時等医学総合管理料、機能強化加算、
在宅がん医療総合診療料、せん妄ハイリスク患者ケア加算、
心大血管疾患リハビリテーション料（II）

8. 委員会活動記録（設置目的・活動報告）

薬事委員会

（目的）

この委員会は、医薬品について、適正な採用及び整理並びに経済効果に関することを調査審議し、より良い薬事業務を推進することを目的とする。

（活動内容）

この委員会は、次の事項を調査・審議するものとする。

- (1) 新規医薬品の選択・採用に関すること
- (2) 同種・同薬薬効の統一化に関すること
- (3) 延滞薬品の活用に関すること
- (4) 薬品の使用管理に関すること
- (5) 使用薬剤の購入等に関すること
- (6) その他薬事に関すること
- (7) 後発医薬品の使用体制について

（活動報告）

開催日	主な議題
令和 元年 10 月 7 日	新規採用薬、後発品への変更、その他薬事全般の検討
令和 元年 12 月 17 日	
令和 2 年 2 月 12 日	

（令和元年度活動総括）

令和元年 10 月に消費税増税があったため 6 か月ごとに薬価改定という異例の年だった。

薬剤総合評価調整加算（ポリファーマシー）、院内フォームラリーの作成など新たな活動を行った。

国の医療行政が後発薬使用を推奨しており当院も後発薬使用体制加算の施設基準に準じて取り組んでいる。

薬事委員会により院内採用薬には以下のような動きがあった。

新規採用薬 12 品目 後発薬へ移行 23 品目

採用中止薬 30 品目（製造中止、経過措置等を含む）

院内感染対策委員会

(目的)

病原微生物により、患者・職員等が汚染され、院内感染を引起することを防止するための対策に関する事項を調査審議し、院長に建議する事を目的とする。

(活動)

<審議内容>

- (1) ICT ラウンドチェックに関する事。
- (2) 病原微生物の調査に関する事。
- (3) 被汚染者、被汚染物の調査及び感染を防止するための対策に関する事。
- (4) その他、院内感染対策として必要なこと。

(活動報告)

構成員	(ICT 大和眞史・牧野勝則・関沢亘・水内豊・小泉由香理) 大和眞史 小林雅弘 牧野勝則 関沢亘 興石恵 中村美紀 武山尚樹 田中優彦 小埜沢章子 小泉由香理
開催日	主な議題
平成 31 年 4 月 10 日	冬期面会制限の開始時期と終了時期の基準について
令和 元年 5 月 8 日	職員ワクチン接種における自己負担額について
令和 元年 6 月 12 日	新型インフルエンザ等における病室の届け出について
令和 元年 7 月 10 日	ゴーグルとシールド付マスクの採用及び運用について
令和 元年 8 月 21 日	院内感染防止対策マニュアル改定案について
令和 元年 9 月 11 日	インフルエンザワクチン接種について
令和 元年 10 月 9 日	職員結核健診の結果について 職員学習会について
令和 元年 11 月 6 日	院内感染防止対策マニュアル改定について
令和 元年 12 月 13 日	抗菌薬マニュアル改訂案について
令和 2 年 1 月 15 日	冬期の面会制限について
令和 2 年 2 月 4 日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症対策について
令和 2 年 2 月 12 日	新型コロナウイルス感染症対策について
令和 2 年 3 月 11 日	新型コロナウイルス感染疑い 来院患者の対応シミュレーション 訓練振り返り

(院内感染対策に関する取り組み事項)

ICT ラウンド	週 1 回(うち 1 回は委員会時)院内をラウンドし、感染防止対策、スタッフへの指導を行った
院内感染防止マニュアルの改訂	院内感染予防策総論、標準予防策、感染経路別予防策、アウトブレイク時の対応について
サーベランス調査	JANIS 検査部門のサーベランスを令和 2 年 1 月から開始、UTI サーベランスも開始した
アウトブレイク時の対応	ICT ラウンド、院内感染防止マニュアルにもとづく対応
新型コロナウイルス対応	面会制限、来院患者の対応シミュレーション、対応フロー作成
標準予防策の徹底	アルコサージュ®使用量調査等

(職員研修の実施事項)

開催日	主な議題
平成 31 年 4 月 10 日	冬期面会制限の開始時期と終了時期の基準について
令和 元年 5 月 8 日	職員ワクチン接種における自己負担額について
令和 元年 6 月 12 日	新型インフルエンザ等における病室の届け出について
令和 元年 7 月 10 日	ゴーグルとシールド付マスクの採用及び運用について
令和 元年 8 月 21 日	院内感染防止対策マニュアル改定案について
令和 元年 9 月 11 日	インフルエンザワクチン接種について
令和 元年 10 月 9 日	職員結核健診の結果について 職員学習会について

電子カルテ導入検討委員会

(目的)

この委員会は、電子カルテ導入について調査審議し、適正かつ円滑な運営を図る事を目的とする。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 元年 11 月 26 日	近隣の電子カルテ導入医療機関の見学予定について 電子カルテのメリット・デメリットについて 電子カルテ補助金制度の確認について
令和 2 年 1 月 17 日	ベンダーより電子カルテの説明
令和 2 年 2 月 3 日	ベンダーより電子カルテ導入後の業務について

栄養委員会

(目的)

- ・病院給食に関する、改善及び向上、安全性の確保、患者満足度のアップ及び効率的な運営を図ることを目的とする。
- ・給食検討会議にて栄養委員会での検討の必要性がある場合と判断された事例が発生した場合開催を行う。

(活動報告)

令和元年度は開催しませんでした。

給食検討会議にて以下の事について協議を行った。

開催日	主な議題
令和 元年 5月13日	経管栄養剤使用患者の使用栄養剤見直しについて
令和 元年 7月 8日	食事箋の記入について
令和 元年 9月 3日	食事箋の様式変更について 嗜好調査実施について
令和 元年11月11日	嗜好調査結果報告 保健所指摘事項についての検討 日中FAXでの食事箋の取り扱いについて
令和 2年 3月 2日	新型コロナウイルス感染患者受け入れ時の食事提供方法について FAX食事箋の取り扱いについて 嗜好調査実施について

MRM委員会

(目 的)

このMRM委員会は、当院における医療事故発生の未然防止や、発生した事故の迅速な対応を図るため、職員が体験した人為的過誤等にかかわる自発報告（インシデントレポート）に基づき、それらの危険要因に対する評価・改善活動を通じて、事故発生の未然防止と、業務の安定化、適正化を図ることを目的とする。

(任 務)

1. MRM委員会は、MRM委員長の総括の下に、以下の任務を行なう。日常業務におけるインシデント・アクシデントの発生内容を把握し、レポートの提出を当事者へ依頼する。
提出されたインシデント・アクシデントレポートを基に、当該部署における対応・対策を講じる。
2. インシデント・アクシデントレポートを、毎月15日まで（期限厳守！）にMRM委員会幹事（放射線技術課長）へ、USBに入力して提出する。
3. リスクマネージャーは、提出されたインシデント・アクシデントレポートの内容を、MRM委員会で報告・提言を行なう。
4. MRM委員会で承認された事項や、内容を職員へ報告し周知・徹底する。
5. ゼネラルリスクマネージャーは、管理会議で決定事項や検討事項を報告し、承認を得る。
6. 年間の統計については、まとめて本社へ報告する。（総務課長）

(職 務)

1. ゼネラルリスクマネージャーは、リスクマネージャーを総括し、部署のインシデント・アクシデントレポートシステムの推進並びに進捗管理を行なう。
2. ゼネラルリスクマネージャーは、リスクマネージャーに対して、インシデント・アクシデントレポートの、円滑な運用に必要な教育訓練を行なう。
3. リスクマネージャーは、部署の職員に対し、インシデント・アクシデントレポートの積極的な提出を励行する。
4. リスクマネージャーは、部署の職員が、危機意識を高めるための教育訓練を行なう。

1. 委員会活動

平成31年4月22日（月）…レポート提出件数18件
令和元年5月27日（月）…15件
令和元年6月24日（月）…19件
令和元年7月29日（月）…16件
令和元年8月26日（月）…17件
令和元年9月24日（月）…12件
令和元年10月28日（月）…14件
令和元年11月25日（月）…17件
令和元年12月23日（月）…21件
令和2年1月27日（月）…24件
令和2年2月27日（木）…25件
令和2年3月27日（金）…14件

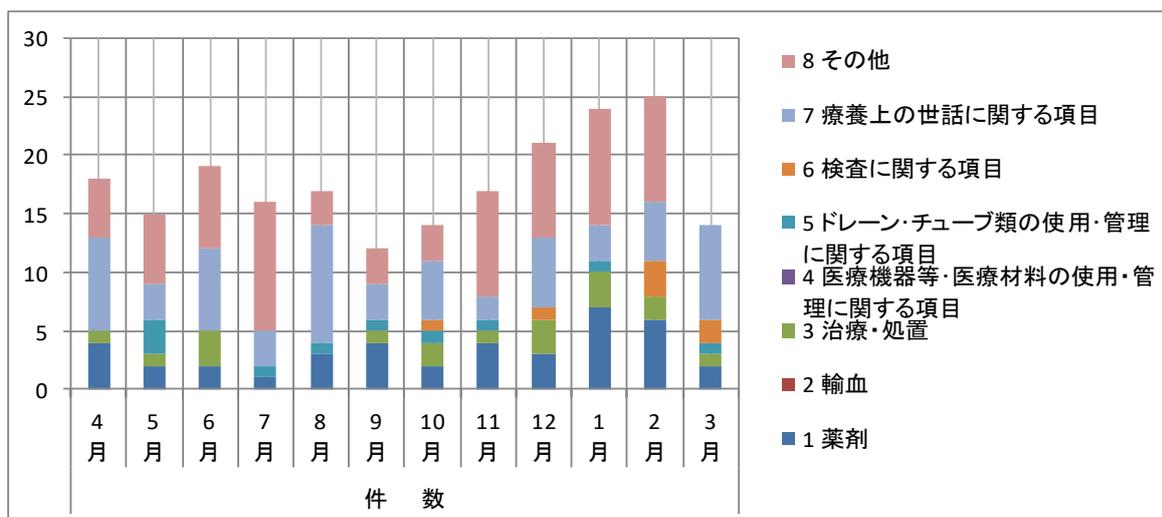
2. 令和元年度 インシデントレポート提出件数

令和元年度 インシデント事例発生報告状況

MRM委員会幹事

項目	インシデント事例 内容別分類	件 数												参考 H30 合計	
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		計
1	薬剤	4	2	2	1	3	4	2	4	3	7	6	2	40	31
2	輸血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	治療・処置	1	1	3	0	0	1	2	1	3	3	2	1	18	7
4	医療機器等・医療材料の使用・管理に関する項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	ドレーン・チューブ類の使用・管理に関する項目	0	3	0	1	1	1	1	1		1	0	1	10	11
6	検査に関する項目	0	0	0	0	0	0	1	0	1		3	2	7	4
7	療養上の世話に関する項目	8	3	7	3	10	3	5	2	6	3	5	8	63	91
8	その他	5	6	7	11	3	3	3	9	8	10	9	0	74	50
計		18	15	19	16	17	12	14	17	21	24	25	14	212	194

インシデント事例提出部署		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1	看護部	16	15	18	13	17	12	14	15	20	20	24	14	198
2	他部署	2	0	1	3	0	0	0	2	1	4	1	0	14



検査精度委員会

委員会の目的

臨床検査は疾患の診断、治療方針の決定、治療効果の判定等現代の医療に必要不可欠の存在である。本委員会は臨床検査データの精度や信頼性の向上、及び臨床検査の問題点の解消のため、部門を越えて各部署から委員を選出し意見の交換や討議等を行う。委員会は基本年 1 回開催されるが、必要に応じて委員長は各委員を呼集し、随時委員会を実施することが出来る。

委員会での意見や討議内容は速やかに検査課に通達され、検査データの精度向上等に反映される。

活動内容

2020 年 3 月 10 日 2019 年度定例委員会開催。

将来構想委員会

(目的)

川西赤十字病院が、将来に渡る質の高い医療の提供と経営の質の向上を目指し、そのために必要な具体的方策について、審議調整を図ることを目的とする。

(活動報告)

開催日	主な議題
令和 元年 9 月 27 日	委員会規程の改正について 病院機能評価の受審について 医師及びスタッフの確保について 電子カルテシステムの導入について 新病院建設について 佐久医療圏地域医療構想について 川西地域連携医・川西保健衛生施設組合等との連携について
令和 2 年 1 月 29 日	病院機能評価の受審について／電子カルテシステムの導入について

輸血療法委員会

(目的)

輸血療法及び血液製剤の適正使用等に関する事項について検討することを目的とする。

(活動)

< 審議内容 >

1. 輸血療法に伴う副作用及び合併症対策に関すること
2. 輸血療法に関連する検査に関すること
3. 血液製剤の適正使用に関すること
4. 血液製剤の保管管理に関すること
5. その他輸血療法に関すること

(活動報告)

輸血管管理料Ⅱの算定について 算定条件の途中経過報告を年6回実施

開催日	主な議題
平成 31 年 4 月 2 日	輸血管管理料Ⅱ算定条件の途中経過報告
令和 元年 6 月 4 日	年間使用量報告書の様式の一部を変更
令和 元年 8 月 6 日	輸血管管理料Ⅱ算定条件の途中経過報告
令和 元年 10 月 1 日	輸血管管理料Ⅱ算定条件の途中経過報告
令和 元年 12 月 3 日	委員会メンバーの変更 1 名 (看護師)
令和 2 年 2 月 4 日	令和元年の使用比率結果の報告

診療情報管理・コーディング委員会

(目的)

診療記録管理等に関する事項について審議し、より良い医療の提供を目的とします。

(活動報告)

第1回（令和元年6月26日）

1. 委員会規定の見直しについて
2. 派遣医師を対象としたカルテ記載事項の伝達方法について
3. DPC 提出データの報告

第2回（令和元年7月31日）

1. 派遣医師を対象としたカルテの記載事項の手順書の作成について
2. DPC 提出データの報告

第3回（令和元年度9月25日）

1. DPC 調査票（コーディング記録用紙）の記載について
2. DPC 提出データの報告

第4回（令和2年1月28日）

1. 外来管理料のカルテ記載について
2. 説明書・同意書の整理、見直しについて
3. DPC 提出データの報告

第5回（令和2年2月26日）

1. 説明書・同意書の整理、見直しについて

第6回（令和2年3月11日）

1. 令和2年度診療報酬改定について
2. 新型コロナウイルス感染症に関する電話再診時の流れについて

褥瘡対策チーム

(目的)

患者及び利用者に対し良質なサービスを提供する取組のひとつとして褥瘡が発生しないように適切な看護及び介護に努めるとともに、その発生を防止するための体制を整備すること。

(活動報告)

1.活動内容

毎月開催し、以下の報告・討議・決議をする。

- (1) 施設内における褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立に関すること
- (2) 褥瘡予防に関する情報の収集に関すること
- (3) 当院の患者及び利用者で報告のあった褥瘡事例の対応策に関すること
- (4) 褥瘡予防のためのマニュアル類の整備に関すること
- (5) 職員を対象にした褥瘡予防に関する研修の実施に関すること
- (6) 在宅褥瘡対策チームの褥瘡事例の対応策に関すること
- (7) その他、当院の褥瘡の発生予防のために必要な事項に関すること

2.令和元年度活動実績 (毎月、褥瘡患者の回診、経過報告、検討)

構成員	専任医師、専任看護師、在宅褥瘡管理者、一般病棟看護師、療養病棟看護師、外来看護師、訪問看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士
開催日	主な議題
平成31年 4月 5日	勉強会の年間計画について
令和 元年 5月 10日	ベットマットとエアーマットの現状について
令和 元年 6月 7日	院外研修の参加について
令和 元年 7月 5日	褥瘡発生時の報告対応の周知、院外研修の参加について
令和 元年 8月 2日	(通常回診)
令和 元年 9月 6日	専任看護師の部署変更について
令和 元年 10月 4日	(通常回診)
令和 元年 11月 1日	院外研修の報告、ポジショニングの検討について
令和 元年 12月 6日	排泄に関するワーキンググループについて
令和 2年 1月 10日	栄養アップペーストについて
令和 2年 2月 14日	職員学習会の準備、当院の褥瘡状況について
令和 2年 3月 6日	持ち込み褥瘡の現状、予防対策について

3.研修の状況

(1) 院外研修参加

令和元年 10月 14日 第16回長野県褥瘡懇話会総会・研修集会 茅野市民会館 参加

(2) 職員研修会

令和2年 2月 20日 「褥瘡と栄養について」業者にて。チームより当院の褥瘡状況報告

医の倫理委員会・幹事会

(目的)

川西赤十字病院において行われる診療及びこれに関連する行為を適正に遂行するために必要な事項について審査等を行うことを目的とする。

(活動報告)

1. 活動内容

(1) 審査事項等

- 1) 診療等についての医の倫理に関する事項
- 2) 前号に掲げるもののほか、委員長が特に必要と認める事項

(2) 迅速審査

- 1) 課題内容の軽微な変更に関する審査
- 2) 診療等において、速やかな判断を求められた場合の審査
- 3) 共同研究であって、既に主たる機関施設において倫理委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見を得ている場合の審査。
- 4) 侵襲を伴わない、もしくは軽微な侵襲を伴う研究であって、介入を行わない課題に関する審査
- 5) 緊急の場合でかつ予め審査結果が明確に確定できると委員長が判断する場合
- 6) 迅速審査の結果の報告を受けた委員長は、4 役会議に付し、審査するものとする。

2. 令和元年度

実績なし

安全衛生委員会

(目的)

この委員会は、労働基準法、労働安全衛生法、その他の法令等に定めるところにより、職員の安全と健康を確保することについて、調査・審議することを目的とする。

(審議内容)

この委員会は、次の事項について調査・審議するものとする。

- (1) 職員の危険を防止するための対策に関すること
- (2) 職員の健康障害を防止するための対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策に関すること
- (4) その他院長の指定する事項に関すること

(活動報告)

1. 委員会活動

平成 31 年 4 月 15 日 (月)

令和元年 5 月 20 日 (月)

令和元年 6 月 17 日 (月)

令和元年 7 月 22 日 (月)

令和元年 8 月 19 日 (月)

令和元年 9 月 25 日 (水)

令和元年 10 月 21 日 (月)

令和元年 11 月 18 日 (月)

令和元年 12 月 16 日 (月)

令和 2 年 1 月 20 日 (月)

令和 2 年 2 月 17 日 (月)

令和 2 年 3 月 23 日 (月)

2. 活動内容

職員健診について

(定期健康診断)

(夜勤等従事職員)

ストレスチェックの実施・結果について

年次有給休暇の取得状況について

時間外について

職員学習会について

(内容：交通安全法規)、(内容：メンタルヘルス研修)、院内ラウンドの実施・報告について、安全衛生委員会規程の見直しについて、こころの健康づくり計画の見直しについて、院職員の労働災害について、新型コロナについて

広報委員会

(目的)

広報委員会は、川西赤十字病院のことを患者様他各方面の方に、より深く理解していただく為にニュースを3ヵ月に1回発行し、又、ホームページについても2ヵ月に1回検討、見直しを実施することを目的とする。

(審議内容)

この委員会で、病院ニュース及びホームページに載せるニュース等を議論・検討し、より良い記事を載せることとする。

(活動報告)

平成 31 年度（令和元年度） 掲載記事一覧

ページ数	平成 31 年度 （116 号）
P 1	大和院長 就任のご挨拶
P 2	小林事務部長 就任のご挨拶
	水内看護部長 就任のご挨拶
P 3	前院長 退任のご挨拶
P 4	前事務部長・看護部長 退任のご挨拶
P 5	訪問栄養指導について
P 6	訪問リハビリテーションについて
	大型連休中の診療日のお知らせ
P 7	赤十字の成り立ちについて
	人事往来
P 8	人事往来・医師担当表

ページ数	令和元年度 （117 号）
P 1	土曜日の外来診療の休診について
P 2	長野県支部合同救護訓練に参加して
P 3	救急法～熱中症について～
P 4	患者サービス委員会の活動について
	講演会の開催について
P 5	中学校看護体験について
	広告掲載 2 業者
P 6	川西保健衛生施設組合議会議員等の施設研修・医師担当表

ページ数	令和元年度 (118号)
P 1	就任のご挨拶 (宮島医師)
P 2	病院祭のご案内
P 3	一般病床 病床転換について 放射線科から CT 装置更新のお知らせ
P 4	感染性胃腸炎(ノロウイルス等) の予防と対応について 榊祭りについて
P 5	インフルエンザ予防接種のご案内 新しい保険証の提示について
P 6	人事往来・医師担当表

ページ数	令和元年度 (119号)
P 1	新年挨拶 (大和院長)
P 2	嚥下造影検査について
P 3	中学生職場体験 ホームページリニューアルについて
P 4	令和元年台風 19 号による災害救護に参加して
P 5	
P 6	総合防災訓練の実施について
P 7	ノロウイルス感染症について 接遇自己チェックリスト実施結果について
P 8	人事往来・医師担当表

在宅医療推進委員会

(目的)

在宅医療の質を上げ、川西地区（旧望月町、旧浅科村、立科町、旧北御牧村）に貢献していくため、在宅医療推進関係部署（他職種）との連携を基に、以下の活動内容について協議し、実行していくことを目的とする。

(活動内容)

- ・在宅医療推進に向けて情報収集及び、各部署への助言と支援

(活動報告) 各部署の活動状況及び、課題等を報告する。(11回開催)

開催日	主な議題
平成 31 年 4 月 24 日	部署別検討議題結果の発表
令和 元年 5 月 28 日	外来患者の訪問系サービス導入における連携について
令和 元年 6 月 26 日	訪問診療について
令和 元年 7 月 30 日	訪問栄養指導の導入について
令和 元年 8 月 28 日	訪問リハビリテーションの減算について
令和 元年 9 月 24 日	介護保険未納、無年金者の対応について
令和 元年 10 月 30 日	訪問栄養指導の実施について
令和 元年 11 月 27 日	在宅療養支援病院について 機能強化型訪問看護 ST 取得に向けて
令和 2 年 1 月 29 日	在宅時医学総合管理料算定について
令和 2 年 2 月 26 日	訪問看護を利用していない外来患者の訪問診療について
令和 2 年 3 月 25 日	訪問診療の担当部署変更について

- ・在宅療養支援病院については、令和元年 12 月に在宅療養支援病院届け出を行った。患者・家族への説明と同意は訪問診療に同行している訪問看護師の協力を得た。令和 2 年 1 月の訪問診療より在宅時医学総合管理料の算定を開始した。

病床管理委員会

(目的)

この委員会は、地域の医療ニーズに伴い包括病床を運営するに当たり、当病床への適応の判定と優先順位を決定するものとする。

(活動内容)

この委員会は、前条の目的を達成するために以下の事項について検討を行った。

- 1) 毎週1回委員会の開催
- 2) 一般病棟から退院できる状態かの有無
- 3) 包括入床において以下の基準が達成できるよう検討した。
 - (1) 在宅からの入院延べ数が病床数の10%以上を維持する事
 - (2) 在宅からの緊急患者受け入れ数を3か月で3人以上にする事
 - (3) 在宅復帰率を直近6か月で70%以上にする事
 - (4) 看護必要度を直近3か月で10%以上にする事
 - (5) 在宅患者訪問診療を直近3か月で20回以上にする事
 - (6) 包括病床稼働率は95%以上を目標にする事

令和元年度の包括利用実績

月	入院延べ数 (人)	緊急患者 受入数 (人)	在宅復帰率 (%)	看護必要度	訪問診療回数 (回)	病床利用率 (%)
4月	94	6	75.8%	33.8	20	90.8%
5月	77	8	75.3%	34.5	20	99.1%
6月	100	8	74.2%	34.7	20	100.0%
7月	83	8	75.0%	37.5	21	101.0%
8月	84	5	79.4%	40.1	20	101.7%
9月	86	4	81.1%	36.4	21	99.4%
10月	121	7	80.6%	33.7	22	91.6%
11月	124	9	80.2%	31.5	26	100.0%
12月	124	9	84.3%	33.8	30	92.4%
1月	161	7	84.1%	34.9	34	84.2%
2月	127	5	78.0%	35.1	32	94.2%
3月	133	6	79.0%	34.4	33	101.4%

患者サービス委員会

(目的)

この委員会は、患者に選ばれる病院・受診してよかった病院、安心して来院でき地域に貢献できる病院づくりを推進するための審議・検討をする。

(審議内容)

この委員会は、次の事項を審議・検討するものとする。

- 1) 外来患者サービス
- 2) 入院患者サービス
- 3) 家族等の患者サービス
- 4) 職員の患者サービスに対する意識改革
- 5) その他病院におけるサービス全般に関すること

(活動報告)

2月 接遇学習会（職員）

3月 自己チェックリスト調査

6月 緑のカーテン・アサガオ等の植え込み

7月～9月 職員による病院周りの草取り

10月 自己チェックリスト調査

11月 院内すす払い・窓ふき

- 通年
- ・患者向けパンフレット（インフルエンザ等）や掲示板を季節に応じて変える
 - ・デイサービス利用者の作品の展示
 - ・広報誌に活動内容を掲載

<緑のカーテン・アサガオ等の植込み>



<病院周りの草取り>



購買委員会

(目的)

この委員会は院長の諮問を受け次の事項について具体的立案をなし、購買業務の適正な運営を図るものとする。

- ・医療器械器具、備品等の物品（以下備品等という）の購買計画に関すること。
- ・その他物品等の購買に関し必要と認めること。

(活動報告)

11月 令和2年度購入申請16件61,984千円について審議を行い、令和2年度分7件15,782千円、令和元年度更新繰上げ分1件1,365千円を採決した。

令和2年度購入申請一覧

更新希望機器	参考価格 (千円)	審議結果
訪問看護車	1, 3 6 5	採決（令和元年度繰上げ）
電子スパイロメーター	2, 2 0 0	採決
練習用階段	5 1 7	採決
歩行練習用ブロック	2 0 9	採決
オゾンレス殺菌水装置	6 1 5	非採決
高圧蒸気滅菌器（手術室）	8, 7 5 1	非採決
ポータブルスリットランプ	5 7 8	非採決
医療用ベッド 10式	2, 6 8 3	採決
SKY 照明灯	5, 2 8 0	非採決
麻酔器	3, 8 5 0	非採決
電子内視鏡システム	2 1, 6 8 1	非採決
骨塩量測定装置	7, 3 8 1	採決
訪問看護車	1, 3 6 5	採決
ブラストチラー	1, 4 2 7	採決
訪問リハビリ車	1, 3 6 5	非採決
心電図変換ゲートウェイ	2, 7 1 7	非採決

合計 61, 9 8 4

【再掲】令和元年度採決分 1, 3 6 5

令和2年度採決分 1 5, 7 8 2

医療ガス安全管理委員会

(目的)

この委員会は、診療の用に供するガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等〔以下「医療ガス」という〕）の設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することについて調査審議し、院長に建議することを目的とする。

(活動報告)

医療法の規定に基づき、1日1回の日常点検及び、年4回の定期点検を実施。

健診委員会

(目的)

患者さまのニーズに沿った健診を行い、地域住民の健康生活保持・増進に貢献する。

(活動報告)

第1回（令和2年3月23日）

1. 胃カメラの実施枠拡充について検討
2. 次年度佐久市健康診断の変更点の確認

病院機能評価検討委員会

(目的)

病院機能評価については、質の高い医療の効果的提供、医療事故防止対策強化、また、職員の意識改革、経営改善のため、病院機能評価受審についての具体的な検討を行う。

(審議内容)

目的を達成するため、以下の検討を行い、病院長に答申する。

(1)自己評価調査票に基づく問題

- ・人的問題
- ・構造的な問題
- ・各部署業務的問題

(2)受審費用

(3)その他、病院機能評価受審について、必要な検討を行う。

(活動報告)

1. 委員会設置日

令和1年10月18日

2. 活動内容

- | | |
|---------------|---|
| 令和1年10月24日(木) | 第1回病院機能評価受審検討委員会 |
| 令和1年11月6日(水) | 日本機能評価機構担当者訪問
日本医療機能評価機構 評価事業推進部 支援課 飯村氏 |
| 令和1年11月27日(水) | 第2回病院機能評価受審検討委員会・機能評価概要説明
日本医療機能評価機構 評価事業推進部 支援課 飯村氏 |
| 令和1年12月11日(水) | 病院機能評価受審支援セミナー参加 |
| 令和2年1月8日(水) | 浅間総合病院訪問 |
| 令和2年1月10日(金) | 第3回病院機能評価受審検討委員会 |
| 令和2年1月22日(水) | 浅間総合病院視察 |
| 令和2年2月14日(金) | 第4回病院機能評価受審検討委員会 |
| 令和2年3月6日(金) | 第5回病院機能評価受審検討委員会 |

9. 施設工事・医療機器整備の状況

(1) 施設営繕工事

工 事 名
高圧受変電設備改修工事
南棟看護師休憩室給湯配管工事
正面玄関床改修工事
本館3階陸屋根一部防水修繕工事
本館2階ベランダ防水修繕工事
屋上ペントハウス防水修繕工事

(2) 設備機械

品 名	数 量
血液検体保管用冷蔵庫更新	1 台
VHF車載無線電話装置更新	1 台
薬剤管理指導支援システムサーバー更新	1 台

(3) 車両

品 名	数 量
軽トラック更新	1 台
訪問看護車更新	1 台

(4) 令和元年度医療機器整備状況

品 名	規格型式	数量
足こぎ式車椅子	TESS コギー	2
全身用X線CT診断装置	キャノン AquilionLightning TSX-035A/6B	1
造影器自動注入器	根本杏林堂 スマートショットスタンド	1
VF検査記録ユニット	島津製作所	1
オートレンズメーター	トーマー TL-7000	1
生化学自動分析装置	日本電子 JCA-BM6010G	1

Ⅲ 部門別概要

1. 診療部門

内科

I スタッフ

部長 宮島 素子

副部長 近藤 泰之

医師 大和 眞史、米倉 宏明、久米 典彦、近藤 泰之、田村 泰夫

非常勤医師 3名

II 診療状況

糖尿病、高血圧、心臓病、慢性閉鎖性肺疾患などを中心に、主に薬物療法や栄養指導などを通じて治療・進展防止・合併症予防などを行っている。

高齢化とともに、いくつもの病気を持つ方も増え、また、整形外科や眼科などとの併用も多く、内服薬の調整や副作用チェックも大切な役目となっている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	○	○	○	○	○	-
14:00～16:00	-	-	○	○	-	-

III 対象疾患

一般的な内科疾患、循環器内科系疾患、消化器内科系疾患、呼吸器内科系疾患など

IV 今後の課題と目標

地域への貢献、例えば訪問診療等の充実を図っていきたい。

外科

I スタッフ

非常勤医師 2名

II 診療状況

消化器外科一般を対象に診療しています。

火曜日は第3週、金曜日は月1回のみ診療を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	○	○	-	-	○	-
14:00～16:00	-	-	-	-	-	-

III 対象疾患

一般的な外科疾患

IV 今後の課題と目標

川西地域では数少ない外科のひとつです。

患者様の病態に合った診療をこころがけていきます。

整形外科・リウマチ科

I スタッフ

医師 大内 悦雄

非常勤医師 4名

II 診療状況

骨折や捻挫などの外傷、頸から腰の脊椎疾患、膝や股関節疾患、手の外科、骨粗鬆症、関節リウマチ、など幅広く診療を実施している。

小手術に加えて、各種ブロック注射、装具療法、リハビリ、生活指導を組み合わせた治療を行っている。

診療は、月～金曜日に実施している。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	○	○	○	○	○	-
14:00～16:00	-	-	-	-	-	-

III 対象疾患

打撲、捻挫、骨折、骨粗しょう症、間接リウマチ、痛風など

IV 今後の課題と目標

患者様ひとりひとりの痛みに寄り添った治療を行い、早期の回復、予防を目指します。

眼科

I スタッフ

非常勤医師 2名

II 診療状況

結膜炎、角膜炎、白内障、緑内障、飛蚊症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症などの診療を行っている。

白内障の手術、糖尿病網膜症のレーザー、加齢黄斑変性症の治療に関しては、近隣の病院と連携して紹介実施している。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	-	-	-	-	-	○
14:00～16:00	-	-	-	-	-	-

III 対象疾患

眼科一般

IV 今後の課題と目標

遠方へ通院できない高齢者が、安心して健診や治療できるかかりつけ医を目指したい。

泌尿器科

I スタッフ

非常勤医師 2名

II 診療状況

月に1回だけの診療のため、慢性的な頻尿、前立腺肥大症、過活動膀胱などの疾患を主に診察を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	-	-	-	-	-	-
14:00～16:00	-	-	-	-	○	-

III 対象疾患

前立腺肥大症、過活動膀胱、頻尿、切迫性尿失禁など

IV 今後の課題と目標

望月地域では唯一の泌尿器科となります。

泌尿器系症状を患っている地域の患者様を支えていければと思います。

健診部門

I スタッフ

医師 米倉 宏明、宮島 素子、久米 典彦、近藤 泰之
非常勤医師 1名
看護師 1名
事務員 1名

II 診療状況

人間ドック（日帰り）、生活習慣病予防検診、特定健診、佐久市個別健診、事業所健診、婦人科検診（子宮頸がん検診）を実施。

オプション検査として、CT 検査（頭部・胸部・腹部）、PSA 検査、TSH 検査、血液型判断、喀痰細胞診、腹部超音波、骨密度測定、動脈硬化度測定、ピロリ菌検査、子宮頸がん検査を行っている。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30～	○	○	○	○	○	-

III 今後の課題と目標

受診された方がより健康的な生活を送れるよう、生活習慣の見直しや改善について、健診結果を基にアドバイスを行っていく。今後、検査項目等の充実も図っていきたい。

救急部門

I スタッフ

医師 大和 眞史、米倉 宏明、久米 典彦、宮島 素子、近藤 泰之
非常勤医師（日当直）
看護師 1名

II 診療状況

一次救急指定病院として、終日患者の受け入れを行っている。

夜間については、各科の医師が常駐していないため、場合によっては応需が難しい状況にある。
受入実績は統計に掲載。

III 今後の課題と目標

不応需数を減らすため、医師・看護師・救急隊員が同時通話可能な電話の整備を検討している。

2. 診療支援部門

放射線技術課

I 部門紹介

放射線技術課は「無駄な待ち時間削減」をモットーに業務を行っている。

診療放射線技師は、放射線障害防止法、医療法施行規則、電離放射線障害防止規則などの法令下で一般撮影装置（1室2管球）、16列マルチスライスCT（1台）、X線TV（嚥下造影ユニット付き）装置（1台）、前腕骨塩定量装置（1台）、ポータブル撮影装置（1台）、オペ室Cアーム（1台）、超音波検査装置（1台）を用いて診断補助を行い、診断しやすい画像を提供するとともに、安全で精度の高い放射線照射業務を行っている。

II 業務内容と近年の動向

1. X線検査：X線を使い胸腹部、四肢骨などの撮影検査を行う。また、透視下各種検査、骨折整復、CV挿入をはじめ、令和元年11月より嚥下造影(VF)検査を行っている。
2. CT検査：令和元年9月GEヘルスケア製DualCTよりCANONメディカル製16列CTへと更新され、より精密な検査が可能となった。
3. その他：令和2年9月骨密度検査装置が更新の予定。

II 業務統計

(単位：件)

	平成30年度 延べ検査数	令和元年度 延べ検査数	増減
一般撮影	3,633	3,585	△48
透視(TV)検査	112	132	20
CT	525	658	133
骨密度	152	149	△3
超音波	-	278	278

※超音波検査については平成31年8月より放射線科にて業務開始

III スタッフ紹介

診療放射線技師2名(男性2名女性0名)

リハビリテーション技術課

I 部門紹介

リハビリテーションは、基本動作の回復等を目的とする理学療法、応用的動作能力・社会適応能力の回復等を目的とする作業療法、言語聴覚能力・摂食嚥下能力の回復等を目的とする言語聴覚療法により構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的としている。佐久地域においては、千曲川より西側の旧浅科村、旧望月町、旧北御牧村、立科町地域の入院リハビリテーション実施施設として役割を担っている。特徴としては、医療・介護のケアミックス型の病院機能と医療保険下・介護保険下での訪問リハビリテーションの提供を行なっている。入院から在宅生活まで途切れないうりハビリテーションの提供を目指し邁進している。

II 業務内容

各分野において、以下のリハビリテーションを提供している。

- I. 疾患別リハビリテーション： 運動器リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、
廃用症候群リハビリテーション、
脳血管疾患等リハビリテーション
- II. 療養型介護リハビリテーション： 理学療法、作業療法
- III. 訪問リハビリテーション： 医療保険下、介護保険下

それぞれの分野において、専門的な知識・技術を活用し、リハビリテーション介入を行っている。

II 業務統計

疾患別患者数（入院）

	疾患別				合計 (単位：人)
	脳血管	運動器	呼吸器	廃用	
平成 29 年	64	102	28	54	248
平成 30 年	27	130	23	27	207
令和 元年	56	104	57	96	313

疾患別患者数（外来）

	疾患別				合計 (単位：人)
	脳血管	運動器	呼吸器	廃用	
平成 29 年	4	81	2	0	87
平成 30 年	3	62	0	1	66
令和 元年	4	62	0	0	66

医療区分別患者数（療養）

	医療区分		合計 (単位：人)
	介護	医療	
平成 29 年	50	18	68
平成 30 年	47	33	80
令和 元年	50	16	66

患者数(訪問)

	区分				合計 (単位：人)
	訪問看護 I 5	訪問看護 基本療養費	医療	指定 訪問リハビリ	
平成 29 年	51	6	5	-	62
平成 30 年	56	8	2	-	66
令和 元年	54	8	1	34	97

Ⅲ スタッフ紹介

医師 専任医師 2 名（内 1 名非常勤）
 理学療法士 4 名
 作業療法士 4 名
 総勢 8 名 （令和元年 4 月現在）

検査技術課

I 部門紹介

現在の医療では正しい診断や治療には「正確な検査データ」の評価が必要不可欠となる。当課は、リアルタイムにその検査データを臨床側に報告すべく業務に当たっている。

(業務内容)

検体検査 患者様の血液や尿などの検体を検査する部署である。

- ①生化学検査 … γ GTP や AST、ALT などの肝機能、尿素窒素やクレアチニンなどの腎機能、血糖や脂質、尿酸などの代謝機能等の検査を行う。
- ②血液検査 … 血液に含まれる白血球や赤血球の数、ヘモグロビン量等の計測を行う。
また、血液が固まる機能を調べる「血液凝固検査」も血液検査に含まれる。
- ③免疫学的検査 … 血液型や交差適合試験等の輸血検査、肝炎ウイルス、梅毒等やインフルエンザ抗原やマイコプラズマ抗原等の感染症検査等。
- ④一般検査 … 尿検査や便潜血、便中ピロリ菌、髄液検査等。

生理検査 心電図や脳波のように「機械」を使って直接患者様の様子を調べる部署である。

他に動脈の詰り具合を見る ABI や動脈の硬さを見る CAVY、神経の伝道速度を計測する誘発筋電図も生理検査に含まれる。

実績(2019年度)

	平成 30 年度 延べ検査数
生化学検査	80,889
血液学的検査	8,119
免疫学的検査	3,593
一般検査	5,628
生理検査	1,465

	平成 30 年度 延べ検査数	令和元年度 延べ検査数	増減
一般撮影	3,633	3,585	▲48
透視 (TV) 検査	112	132	20
C T	525	658	133
骨密度	152	149	▲3
超音波	-	278	278

スタッフ

臨床検査技師 2 名

栄養課

I 部門紹介

栄養課では、食を通して病気の回復や QOL の向上につながるよう、患者の病態に応じた食事の提供と栄養管理・栄養指導を行っている。

《業務内容》

1 年間の取り組み

- (1)行事食 21 回/年
- (2)嗜好調査 1 回/年

2 加算状況

- (1)特別食加算 対象比率 約 22.9%
- (2)栄養指導加算
- (3)経口維持加算

《実績》

1 給食数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
1日平均給食数	64	65	64	61	67	71	62	69	63	61	70	71	66

2 栄養指導状況

(1)ドック指導実績数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
ドック指導数	14	11	7	15	8	8	9	9	4	7	3	4	99

(2)入院・外来栄養指導実績数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
高血圧症		2	2	6	2	2		1	1		1	1	18
心臓病						2		4		2		4	12
糖尿病	3	3	7	8	15	10	6	5	4	7	9	7	84
腎臓病					2	1	1		1	1			6
脂質異常症	7	1	2	1	6	8	4		7	3	2	5	46
低栄養		1	1		1	1				4	1		9
合計	10	7	12	15	26	24	11	10	13	17	13	17	175

《スタッフ紹介》

管理栄養士：2名

薬剤部（調剤課）

I 部門紹介

薬剤部では安全で適切な薬物療法を提供するため、薬の専門職として病院が最善の医療を行えるよう貢献している。

患者さんにとって待ち望んだ新薬が開発される一方で、副作用や既存の薬剤との相互作用など、未知の事象も起こりうることを念頭に置いて職務を遂行している。

病気の治療に薬は欠かせませんが、薬剤師のみで治療の完結はできず、他の医療スタッフにも薬品情報提供を行い安全で効果的な治療提供に心がけている。

《業務内容》

- 調剤業務** 医師よりオーダーされた処方せんに従い錠剤、散剤、外用剤などの調剤を行う。
その際、用法、用量は適切か、相互作用（他の薬との飲み合わせ）は問題ないかをチェックし、疑問がある場合は処方医に確認を取る。
- 注射薬調剤** 注射せんにより点滴、注射の準備を行うが、注射薬は投与後の作用が速いため、より安全に投与する必要がある。投与方法、投与速度、溶解液との相性などチェックを行う。
- 薬品管理業務** 院内の採用薬品は約 800 品目あり、投薬用薬品、注射用薬品、その他の薬品（造影剤、消毒薬など）に分類される。医業に支障のないように適切な貯法、適切な在庫設定を行う。
- 服薬指導業務** 入院中の患者さんのベッドサイドに伺い、使用されている薬の効果、副作用、保管上の注意事項など情報提供するとともに、患者さんの疑問や不安に答える。
- 医薬品情報管理** 院内の採用薬品ばかりでなく全ての医薬品に関する情報を製薬会社、書籍、インターネット等から集積し、必要に応じて病院内へ発信し、医師をはじめとする他の医療スタッフの質問にも対応している。
- 持参薬鑑別業務** 新規に入院される患者さんに現在の服用薬を持参して頂き鑑別する、特に他施設にかかっていた患者さんの服用状況などは重要な情報となる。

《実績》

令和元年度実績

(単位：枚)

	枚数
入院処方箋	4,634
注射箋	6,064
院外処方箋	13,982

(単位：件)

	件数
薬剤管理指導	726
持参薬鑑別	302

《スタッフ紹介》

- ・薬剤師 2名（男性1名、女性1名）

3. 看護部門

看護部理念・活動方針

理念

私たちは高い倫理観に基づいた信頼される看護・介護を提供し、人々の苦痛の軽減と回復力を高められるよう支援します。

活動方針

- ・ 尊厳と意思を尊重し、その人らしい生活ができるよう支援します。
- ・ 安全・安楽を基本に、安心される看護を提供します。
- ・ 経済性を考慮した生産性の高い看護を提供します。
- ・ 地域との連携を推進し、地域に根ざした看護を行います。
- ・ 看護専門職として自己研鑽し看護の質向上に努めます。

外来

I. 外来スタッフ

看護師長 1名

看護係長 1名

看護師 3名 准看護師 1名 看護助手 1名

II. 診療状況

外来部門は、内科、整形外科は月曜から金曜日まで、外科は月4回、泌尿器科は予約制で月1回、眼科は週1回、婦人科は月1回の診療を実施している。

また、月に2回春日診療、週に1回結の家の診療を実施している。

III. 取り組み

1. 患者のフェイスシートを作成し、スタッフ間で患者の情報を共有し、継続看護を行う。

2. 入院患者に看護師複数名で機能別に対応し、患者・家族の待ち時間短縮に努める。

令和元年来外部門の目標は、情報の共有を図り継続看護行うであった。当外来は、スタッフの人数や勤務状況から固定した担当看護師が各科に携わることが難しく、通院患者の情報を共有する方法が課題であった。通院患者は、高齢者が多く内服管理ができない、急な受診が多いなど様々な問題に気づくことがある。しかし、その気づきは記録には残されていなかったため、外来内で得た情報を記録に残し継続した看護が実施で、中には独居できるように患者のフェイスシートを作成した。これにより、外来スタッフの患者情報への関心が得られ、気付きの情報共有に繋がった。

また、病棟と外来の協力体制として、入院される患者・家族の待ち時間短縮に努めた。それまでは、入院担当者が書類、処置などを実施していたが、複数人で携わり機能別に対応するようにし、待ち時間の短縮に努めた。

III. 今後の課題

1. 退院前カンファレンスに出席し、医師をはじめ、他施設、および患者、家族に関わる多職種との連携を密にし、継続的に外来看護を提供する。

2. 診察の待ち時間短縮のための事前採血等について検討する。

一般病棟

I. スタッフ(令和2年3月31日現在)

看護師長 1名
看護係長 2名
看護師 22名 看護助手 3名

II. 病床

(1)一般病床：19床
(2)包括ケア病床：30床

III. 診療状況

内科・整形外科の混合病棟で、一般病床と地域包括ケア病床の併設病棟である。急性期病院からの後方支援病院として、回復期の患者に対するリハビリテーションや生活支援、高齢期医療を中心とした慢性期疾患（心不全、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患等、脳血管疾患後遺症、骨粗鬆症、圧迫骨折、その他骨折後の後遺症）の薬物療法、栄養管理、嚥下訓練、リハビリテーションなど、又は、終末期患者に対する緩和ケアを行っている。入院初期から、在宅部門や地域の支援事業所等と連携し、積極的な退院支援を行い、地域包括ケア病床や療養病棟への移行も考慮しながら、在宅復帰と継続した医療の提供を目指している。当院の理念である、地域住民と共に生きている喜びを分かち合える医療に向けて、チームが一つになり、入院中から退院後も、患者や家族が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活が送れるよう、特に今年度は、入院時、退院後訪問を実施した。病棟看護師が、入院前後で在宅に訪問することで、入院中から在宅退院を意識した退院支援を行うことができ、また、退院後に訪問することで、タイムリーな指導や支援につながり、医療依存度の高い患者や終末期の患者であっても、継続した医療が提供され、患者家族の安心と在宅生活の継続に繋がったことを実感した。今後も、当該地域における地域包括ケアシステムの医療を担う病院として、更に地域医療に貢献していく。

- ・認定看護師：看護師1名：令和1年認知症看護師認定看護師教育課程修了し、令和2年11月に認知症認定看護師試験を受ける予定。現在、認知症患者にかかる加算やマニュアルの整備、スタッフへの助言・相談対応などを行っている。
- ・特定行為研修終了看護師：看護師1名：令和2年4月に日本赤十字社の特定行為研修（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）を修了予定。今後は、実践に向けた体制を構築していく。

IV. 今後の課題と目標

- ・退院後の在宅看護の充実と継続した看護を提供できるよう、さらに多職種連携を強化。
- ・WLBの推進に向けて業務改善を実施し時間外削減に取り組む。
- ・スタッフ一人一人が自己開発のために目標を持ち、キャリア開発ラダーについての理解を深め認定者を増進する。

療養病棟

I. スタッフ(令和2年3月31日現在)

看護師長 1名

看護係長 2名

看護師 9名 准看護師 1名 看護助手 8名

II. 病床

(1)医療療養：25床

(2)介護療養：8床

III. 診療状況

1 業務実績

療養病棟は、高齢者で急性期の治療が終え症状が安定された方で、医療依存度が高く寝たきり状態で介助量が多く、施設入所も困難な患者が多い。また、在宅での介護が難しく施設入所を待っている患者など、長期療養が必要な方が入院されています。また、意思の疎通が困難で、本人の意向の確認が取れない為、ご家族とコミュニケーションをとり安心して頂けるような関わりを大切にしています。

患者カンファレンスは週2日看護師・理学療法士・管理栄養士が参加し実施し、看護師と看護補助者で患者を受け持つ担当制を導入することで個別性のある看護ケアに繋がっています。また、オムツカンファレンスを実施し、患者に最適なオムツの種類を選択・交換時間の検討をし、コスト面も考慮しています。

行事係りを中心に毎週、レクリエーションを実施しています。参加が難しい患者が多く、アロマを炊き手足のマッサージを行い、リラックスして頂いています。

療養新聞の掲載・毎月季節を彩った掲示板の装飾・誕生日カードのプレゼントをしています。

看護・介護の振り返る良い機会となる様、毎年、ナラティブ事例発表会を実施しています。

IV. 今後の課題と取り組み

1. 課題

- ・患者層の変化（緩和ケア・終末期）による柔軟な対応
- ・介護療養病床の廃止に伴う、病床運用の見直し
- ・看護師・介護補助者のキャリアアップ

2. 取り組み

- (1) 医師も含めた、多職種カンファレンスの充実
- (2) 在宅への退院に向けた支援の充実
 - ・退院調整部門（地域連携室・訪問看護・ケアマネージャー）との連携強化
- (3) 倫理意識の向上
 - ・4分割法を使用した倫理事例検討
- (4) エビデンスに基づいた看護・介護
 - ・院内外での勉強会、研修会への積極的な参加
 - ・資格取得（ケアマネージャー、認定等）
 - ・ラダーの取得（看護師）

4. 医療社会事業部門

地域医療連携室

I. 業務内容

1. 地域医療連携

- ・紹介患者の受け入れ、予約及び連絡業務調整（前方連携）に関すること
- ・関係行政機関との連絡調整に関すること
- ・他施設との看看連携に関すること
- ・院内部門との連携や調整に関すること
- ・地域連携クリティカルパス（脳卒中・胃がん）に関すること

2. 退院支援

- ・退院準備、在宅療養、施設入所、転院（後方連携）に関すること
- ・社会保障、社会福祉制度に関する相談
- ・虐待等に関する相談

3. 業務実績

- ・紹介率：29.5% 逆紹介率：31.7%
- ・相談援助調整内容別件数

（単位：件）

相談内容	平成 30 年度 延べ検査数
家族関係	21
在宅介護・地域生活関係	267
療養生活関係	46
経済的問題関係	13
虐待・暴力・人権関係	1
転院関係	11
他施設利用関係	68
他福祉関係法利用関係	13
その他	5
合計	445

訪問看護ステーション

I.業務内容

- ・在宅療養者の療養上の世話（医療保険、介護保険、生活保護等による）
- ・訪問診療、往診の補助
- ・介護相談・指導、ケアカンファレンスの実施
- ・退院指導（退院・退所前の施設等への訪問）
- ・開業医との定期的なカンファレンス実施（3施設）
- ・ハートフルケアたてしな、ジェイエー長野会との定期的なカンファレンスに参加
- ・浅科・望月地域包括連絡会議への参加
- ・浅科・望月地域包括ケア会議への参加
- ・東信地区訪問看護連絡協議会への参加
- ・病院との連携による継続看護の実施（退院後訪問の同行）
- ・利用様へのデスカンファレンスやグリーンケアの実施
- ・佐久大学地域看護学の実習受け入れ

II.業務実績

利用件数

(単位:件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護保険	94	90	93	102	97	101	107	105	105	103	99	101	1,197
医療保険	13	14	19	18	21	18	18	22	23	21	22	21	230
合計	107	104	112	120	118	119	125	127	128	124	121	122	1,427

訪問回数

(単位:回)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護保険	403	364	406	470	442	438	496	459	450	444	403	473	5,248
医療保険	61	61	106	135	148	93	106	109	133	107	111	115	1,285
合計	464	425	512	605	590	531	602	568	583	551	514	588	6,533

訪問看取り数

(単位:件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
看取り数		1		1	2					1	1		6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者合計	107	104	112	120	118	119	125	127	128	124	121	122	119
介護保険	94	90	93	102	97	101	107	105	105	103	99	101	99
医療保険	13	14	19	18	21	18	18	22	23	21	22	21	19
訪問回数合計	464	425	512	605	590	531	602	568	583	551	514	588	544
介護保険	403	364	406	470	442	438	496	459	450	444	403	473	437
医療保険	61	61	106	135	148	93	106	109	133	107	111	115	107
訪問看取り数	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0.5
訪問単価	8140	8380	8518	8240	8563	8175	8216	8168	8213	8207	8430	8113	8280

Ⅲ.研修活動

地域看護学会発表

部署内学習会

デスクンファレンス

事例検討会

居宅介護支援事業所

I. 業務体制

管理者 1 名、主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 2 名体制で、居宅介護支援計画作成・管理業務を行う。

II. 業務実績

通常事業の実施地域は、佐久市、立科町、東御市。利用者の希望により小諸市での実施実績もある。令和元年度の市町村別利用者内訳は、佐久市 91%、立科町 8%、その他 1%未満である。特定事業所加算Ⅲを取得しており、支援困難ケースの受け入れもしている。令和元年 7 月からは、浅科望月地域包括支援センターからの委託で要支援利用者の支援も行っている。病院併設の居宅介護支援事業所であり、入院中に介護保険申請を行った新規利用者の受け入れを積極的に行っている。

令和元年度のケアプラン作成件数の要介護度別内訳 (単位：件)

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
ケアプラン作成件数	15	417	318	187	149	40

III. 研修活動

佐久市居宅介護支援事業所連絡協議会研修
佐久圏域介護保険事業者連絡協議会研修
浅科望月地域包括連絡会議研修
立科町介護事業所連携会議研修
部署内学習会、カンファレンス

浅科・望月地域包括支援センター

1 業務内容

- ・介護や高齢者福祉などについての様々な相談対応を行う「総合相談支援業務」
- ・成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の対応、消費者被害の防止等を行う「権利擁護業務」
- ・様々な職種や機関と連携し、地域の介護支援専門員に対しても相談・援助を行う「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」
- ・自立した生活が出来るように支援する「介護予防ケアマネジメント業務」
- ・地域の支え合い、活動する場づくりを支援する

2 業務統計（R1年4月～R2年3月）

- ① 相談件数集 * ②介護予防ケアマネジメント業務以外の相談について記入

（単位：件）

相談内容		相談方法			
		来所	電話	訪問	その他
総合相談 支援業務	地域における様々な関係者の ネットワークの構築	85	358	39	124
	高齢者の実態把握	3	10	94	4
	総合相談	117	1346	660	784
権利擁護業務	成年後見制度の活用	2	3	0	1
	老人福祉施設等への措置	0	0	0	0
	虐待への対応	6	26	27	8
	困難事例への対応	6	33	20	23
	消費者被害の防止	0	1	0	0
包括的・継続的 ケアマネジメント 支援業務	包括的・継続的なケア体制の構築	11	100	48	12
	介護支援専門員のネットワークの活用	8	61	2	3
	介護支援専門員に対する 日常的個別指導・相談	2	3	1	0
	介護支援専門員が抱える支援 困難事例等への指導・助言	0	11	2	4
その他		0	0	0	0
合 計		240	1,952	893	963
うち新規（再掲）		26	87	7	100
ケースカンファレンス実施回数（再掲）		239			
地域ケア会議実施回数（再掲）		5			

② 介護予防ケアマネジメント業務

		介護予防ケアマネジメント件数			
		プラン数			
		新規	継続	委託（再掲）	
新規	継続				
介護予防サービス計画 （介護予防給付）	要支援1・2	21	1,428	7	431
介護予防ケアマネジメント（総合事業）		58	1,683	0	130
	住民主体サービス （再掲）	0			
サービス担当者会議実施回数		予防給付	93	総合事業	65

③ その他の活動

佐久市地域包括支援センター連絡会議	11回	浅科・望月地区民生委員・支所との懇談会	3回
支所担当者との連絡会	11回	地区サロン	23回
浅科・望月連絡会	11回	グループホームあゆみ運営推進会議	6回
佐久市居宅介護支援事業者連絡会	11回	小規模多機能居宅介護あさしな 運営推進会議	5回
佐久市介護保険適正化事業	3回	生活支援コーディネーター会議	9回
浅科・望月地域包括ケア協議会	4回	望月悠玄福祉会評議員会議	3回
高齢者・障害者 権利擁護ミーティング	3回	望月交流会	1回
佐久圏域研修会	2回	地域密着型通所介護運営推進会議 6か所	10回

5. 事務部門

総務課

(1) スタッフ

課長 1 名 係長 1 名 主事 1 名 非常勤職員 1 名

(2) 当課の目標とキーワード

人事・労務・庶務・人材育成業務をはじめ、関係機関との折衝・広報・義援金・災害救護等の業務を担当する。また、病院における包括的・将来的課題の解決を目指す。

(3) 業務内容

- ・ 職員の人事、給与その他労務管理に関すること。
- ・ 職員の服務、研修及び福利厚生に関すること。
- ・ 職員の賞罰に関すること。
- ・ 職員の出張に関すること。
- ・ 儀式及び弔慰に関すること。
- ・ 内規等の制定及び改廃に関すること。
- ・ 文書の管理に関すること。
- ・ 業務の連絡調整に関すること。
- ・ 情報の総括的管理に関すること。
- ・ 宿直及び日直に関すること。
- ・ 重要事項の記録に関すること。
- ・ 会議及び集会に関すること。
- ・ 諸報告及び諸届に関すること。
- ・ 一般文書用公印の管理に関すること。
- ・ 車両の運行に関すること。
- ・ 構内取締りに関すること。
- ・ 損害保険制度等の処理に関すること。
- ・ 鍵の監守に関すること。
- ・ 院内外の環境美化に関すること。
- ・ 病院の運営計画に関すること。
- ・ 業務の総合企画に関すること。
- ・ 災害時等における医療援護の計画及び実施に関すること。
- ・ ボランティアの受入れ等奉仕活動の指導、協力及び連絡調整に関すること。
- ・ その他、他課に属しないこと。

(4) 業務状況

- ① 令和元年 10 月より週休 2 日制導入。
- ② 平成 31 年 4 月改正労働安全衛生法の施行に伴い、就業規則改訂、タイムレコーダー導入。
- ③ 令和元年台風 19 号災害による被害地域、長野市・須坂市へ救護班 1 班、および「こころのケアチーム」派遣。

- ④ ホームページを完全刷新。
- ⑤ 非常事態・職員連絡用にオクレンジャー導入。
- ⑥ 常勤医師3名確保し5名体制へ。日赤医師派遣事業は、辞退を申し入れ。

(5) 今後の課題

- ・病院建て替えに関する検討。
- ・「再編の検討を求めた公立・公的病院424病院」について、病院の在り方の再検討。
- ・人材育成、職員への病院ニーズに合った資格取得や講習受講の促進。

会計課

(1) スタッフ

課長1名、主事1名、常勤嘱託職員1名

(2) 当課の目標とキーワード

- ・固定資産にかかる投資費用の削減
- ・経費（水道光熱費）の削減
- ・材料費（診療材料費）の削減
- ・委託費の値上げ抑制

(3) 業務内容

- ・予算及び決算に関すること。
- ・収入および支出に関すること。
- ・債権管理に関すること。
- ・資産の管理及び運営に関すること。
- ・不動産及び物品の管理に関すること。
- ・車両の管理に関すること。
- ・現金及び有価証券の出納及び保管に関すること。
- ・出納用公印の管理に関すること。
- ・租税に関すること。
- ・営繕に関すること。
- ・売買、貸借、請負その他の契約に関すること。

(4) 業務状況

年々増加する固定資産にかかる投資費用及び医業費用について、削減に努めた。結果は次の通り。

- ・投資費用：対予算比 30.7%・16,870 千円の削減。
- ・水道光熱費：契約電力の対前年比 12 kWh の削減。（基本料金 19,694 円/月の削減）
- ・診療材料費：対予算比 8.5%・1,086 千円の増加。（感染予防対策による使用量増が起因）
- ・委託費：給食委託費 対前年度比増減なし。
清掃委託費 対前年度比 1.6%・77 千円の削減。

医事課

(1) スタッフ

課長補佐 1名、係長 1名、事務員 1名、委託職員 7名

(2) 当課の目標とキーワード

- ・ 当院で実施可能な新規の施設基準の検討を行ない収入増加に繋がる提案を行うと共に、届出後の評価を実施する
- ・ 健診サービス向上による収益の増加
- ・ 未収金の発生防止対策及び回収の強化
- ・ 診療報酬請求に関して請求漏れの防止及び査定・返戻減の強化

(3) 業務内容

- ① 医事統計データの分析実践と病院経営への参画
- ② 施設基準の届出と分析
- ③ 各種健診診断・予防接種の計画・運営
- ④ 長期未収金の回収業務
- ⑤ 査定・返戻分析、関わる勉強会の計画
- ⑤ 診療情報管理に関する業務
- ⑥ その他、医事に関すること

(4) 業務状況

- ① 令和元年10月に実施した病床転換（一般病床から地域包括ケア病床への転換）に伴う分析資料の作成・提案を行った。結果、転換前(上半期)よりも一般病棟全体での稼働率・診療単価の増加に繋がった。
- ② 施設基準の維持と管理の徹底を継続して行った。令和2年1月には、在宅療養支援病院に係する届出を行なった。外来在宅部門の診療単価増の一因に繋がった。
- ③ 今年度よりスタートしたオプション検査である動脈硬化度検査の案内強化に取り組み、目標件数より大幅に達した(目標比140%)。
- ④ 過去2年分の長期未収金に対し、電話催促・文書郵送を定期的を実施した。訪問回収も1回実施した。結果、年度当初よりも、750,000円の回収(回収率75.0%)の成果を上げられた。
- ⑤ 査定率0.10%、返戻件数月8件を目標に、毎月委託先職員と勉強会を実施した。結果、年間の査定率は0.13%と概ね目標の範囲内の結果となり、返戻件数は月7件で目標件数を達した。
- ⑥ 電子カルテ導入に向け、診療情報管理に関わる役割が増えてきている。次年度も更に強化をしていくこととしたい。
- ⑦ 他部門の業務(職員の予防接種、紹介状統計等)も多岐に渡って行っている。業務マニュアルの作成を行う中で、情報の共有化を図り、業務時間短縮に繋がった。

(5) 今後の課題

- ・ 介護病床の今後の転換、地域医療構想を踏まえた当院の今後の病床機能の在り方について経営への参画。
- ・ 電子カルテ導入に向けた検討プロジェクトへの取組み。

IV 部門概要

1 患者統計

1) 月別患者数統計

(1) 延べ外来患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
内科	761	800	694	851	813	761	885	746	864	809	654	782	9,420	785
外科	51	47	44	49	47	36	48	71	34	51	35	51	564	47
整形外科	606	606	618	695	707	679	711	621	634	571	507	554	7,509	626
眼科	24	23	44	25	41	23	32	30	30	18	28	34	352	29
泌尿器科	6	9	9	12	8	10	11	7	14	11	8	9	114	10
全科合計	1,448	1,485	1,409	1,632	1,616	1,509	1,687	1,475	1,576	1,460	1,232	1,430	17,959	1,497
診療日数	22	20	23	24	24	21	22	20	20	19	18	21	254	
平均	65.8	74.3	61.3	68.0	67.3	71.9	76.7	73.8	78.8	76.8	68.4	68.1	70.7	

(2) 延べ入院患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	480	426	485	554	611	578	386	469	379	437	436	494	5,735	478
地域包括	681	768	750	783	788	770	852	900	859	783	876	943	9,753	813
医療療養	646	704	603	508	592	650	584	628	640	573	616	757	7,501	625
介護療養	224	234	229	225	248	225	200	187	202	224	179	221	2,598	217
全病床合計	2,031	2,132	2,067	2,070	2,239	2,223	2,022	2,184	2,080	2,017	2,107	2,415	25,587	2,132
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
平均	67.7	68.8	68.9	66.8	72.2	74.1	65.2	72.8	67.1	65.1	72.7	77.9	69.9	

(3) 病床稼働率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	64.0	55.0	64.7	71.5	78.8	77.1	65.5	82.3	64.3	74.2	79.1	83.9	71.2	71.7
地域包括	90.8	99.1	100.0	101.0	101.7	102.7	91.6	100.0	92.4	84.2	100.7	101.4	96.9	97.1
医療療養	86.1	90.8	80.4	65.5	76.4	86.7	75.4	83.7	82.6	73.9	85.0	97.7	82.0	82.0
介護療養	93.3	94.4	95.4	90.7	100.0	93.8	80.6	77.9	81.5	90.3	77.2	89.1	88.7	88.7
全病床合計	81.6	82.9	83.0	80.5	87.0	89.3	79.5	88.8	81.8	79.3	88.6	95.0	85.3	84.8

(4) 平均在院日数

(単位：日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般	14.9	18.2	20.4	16.6	20.2	19.1	13.4	12.5	16.4	12.9	15.9	18.6	16.6
地域包括	31.5	42.9	34.8	40.4	39.4	28.1	45.2	34.3	30.6	34.9	45.1	45.1	37.7
医療療養	257.2	0.0	132.2	252.5	590.0	648.0	290.0	626.0	424.7	571.0	1,232.0	300.8	443.7
介護療養	148.0	468.0	151.3	224.0	496.0	148.7	132.0	74.0	402.0	88.8	70.4	146.7	212.5
全病床合計	38.8	52.2	40.0	35.8	43.5	39.9	33.9	28.5	35.6	36.4	42.3	44.8	39.3

(5) 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	38.0	23.9	28.8	37.6	22.6	31.2	20.0	35.9	33.7	18.7	36.8	39.7	30.6
逆紹介率	26.0	26.5	34.2	45.2	24.1	42.9	41.9	22.8	34.9	20.1	31.6	37.2	32.3

(6) 新外来患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
内科	49	52	33	38	77	34	51	41	55	80	40	35	585	48.75
外科	2	4	0	3	0	1	0	8	0	1	4	0	23	19.17
整形外科	43	52	67	48	53	41	50	41	22	48	28	38	531	44.25
眼科	6	5	11	4	3	1	4	2	6	5	4	5	56	4.67
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
全科合計	100	113	111	93	133	77	105	92	83	134	76	78	1,195	99.58
診療日数	22	20	23	24	24	21	22	20	20	19	18	21	254	
平均	4.55	5.65	4.83	3.88	5.54	3.67	4.77	4.60	4.15	7.05	4.22	3.71	4.70	

(7) 新入院患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
一般	31	23	23	34	28	24	28	39	21	30	30	24	335	27.92
地域包括	2	3	4	2	2	5	5	5	3	4	2	4	41	3.42
医療療養	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0.42
介護療養	1	1	1	1	1	1	1	3	0	3	2	2	17	1.42
全病床合計	36	27	29	38	31	30	34	47	24	37	35	30	398	33.17
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
平均	1.20	0.87	0.97	1.23	1.00	1.00	1.10	1.57	0.77	1.19	1.21	0.97	1.09	

2) 疾病別・診療科別・病名数 (ICD大分類)

	総数		構成比%	内科	整形
	計				
総数	計	364	100.0	337	27
	男	150	41.2	142	8
	女	214	58.8	195	19
構成比 (%)	計	100.0		92.6	7.4
	男	100.0		94.7	5.3
	女	100.0		91.1	8.9
I 感染症及び寄生虫症	計	16	4.4	16	-
	男	9	6.0	9	-
	女	7	3.3	7	-
II 新生物<腫瘍>	計	5	1.4	5	-
	男	3	2.0	3	-
	女	2	0.9	2	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	3	0.8	3	-
	男	1	0.7	1	-
	女	2	0.9	2	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	34	9.3	33	1
	男	12	8.0	12	-
	女	22	10.3	21	1
V 精神及び行動の障害	計	1	0.3	1	-
	男	-	-	-	-
	女	1	0.5	1	-
VI 神経系の疾患	計	10	2.7	9	1
	男	8	5.3	7	1
	女	2	0.9	2	-
VII 眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-
	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	5	1.4	5	-
	男	1	0.7	1	-
	女	4	1.9	4	-
IX 循環器系の疾患	計	72	19.8	72	-
	男	23	15.3	23	-
	女	49	22.9	49	-

		総数	構成比%	内科	整形
X 呼吸器系の疾患	計	70	19.2	70	-
	男	31	20.7	31	-
	女	39	18.2	39	-
X I 消化器系の疾患	計	16	4.4	16	-
	男	10	6.7	10	-
	女	6	2.8	6	-
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	7	1.9	6	1
	男	4	2.7	3	1
	女	3	1.4	3	-
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	61	16.8	57	4
	男	27	18.0	26	1
	女	34	15.9	31	3
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	計	26	7.1	26	-
	男	9	6.0	9	-
	女	17	7.9	17	-
X V 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	-	-	-	-
	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
X VI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-
	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	1	0.3	1	-
	男	1	0.7	1	-
	女	-	-	-	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	-	-	-	-
	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	36	9.9	16	20
	男	11	7.3	6	5
	女	25	11.7	10	15
X X 傷病及び死亡の外因	計	-	-	-	-
	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-

		総数	構成比%	内科	整形
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び 保健サービスの利用	計	-	-	-
		男	-	-	-
		女	-	-	-
X X II	特殊目的用コード	計	-	-	-
		男	-	-	-
		女	-	-	-

3) 過去3年間の居住地別患者数（佐久市・立科町・東御市）

平成29年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	17,203	6,963	519	294	813	1,176	26,155
割合(%)	65.77	26.62	1.98	1.12	3.11	4.50	100.00
外来	14,956	3,720	74	180	254	645	19,575
割合(%)	76.40	19.00	0.38	0.92	1.30	3.30	100.00
合計	32,159	10,683	593	474	1,067	1,821	45,730
割合(%)	70.32	23.36	1.3	1.04	2.33	3.98	100.00

平成30年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	15,988	5,418	64	682	746	1,698	23,850
割合(%)	67.04	22.72	0.27	2.86	3.13	7.12	100.00
外来	13,898	3,760	87	151	238	820	18,716
割合(%)	74.26	20.09	0.46	0.81	1.27	4.38	100.00
合計	29,886	9,178	151	833	984	2,518	42,566
割合(%)	70.21	21.56	0.35	1.96	2.31	5.92	100.00

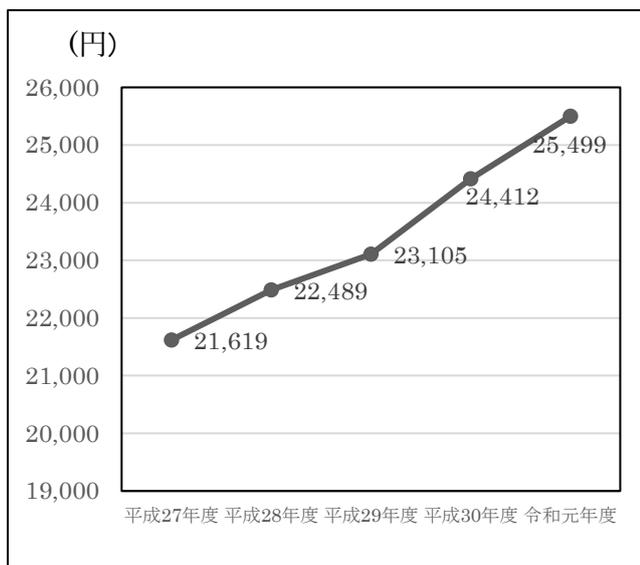
令和元年度

	佐久市	立科町	東御市			その他 地区	合計
			東部	北御牧	計		
入院	17,030	6,031	522	101	623	1,903	25,587
割合(%)	66.56	23.57	2.04	0.39	2.43	7.44	100.00
外来	13,110	3,752	140	80	220	877	17,959
割合(%)	73.00	20.89	0.78	0.45	1.23	4.88	100.00
合計	30,140	9,783	662	181	843	2,780	43,546
割合(%)	69.21	22.47	1.52	0.42	1.94	6.38	100.00

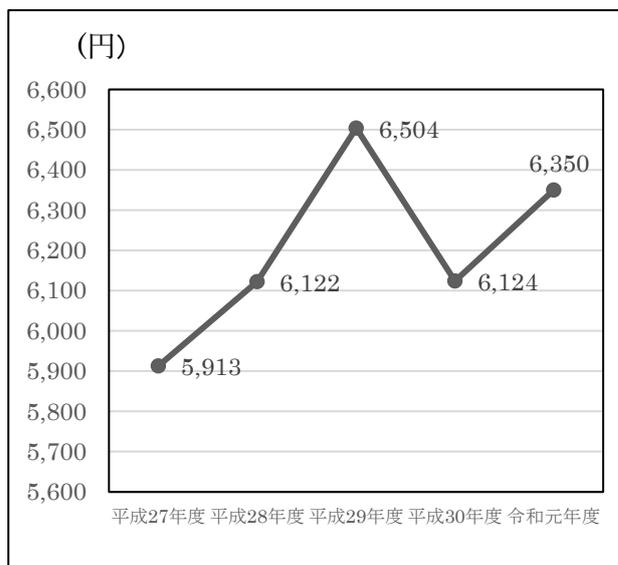
4) 稼働統計

ア) 年度別比較

●入院診療 1人1日当り



●外来診療 1人1日当り

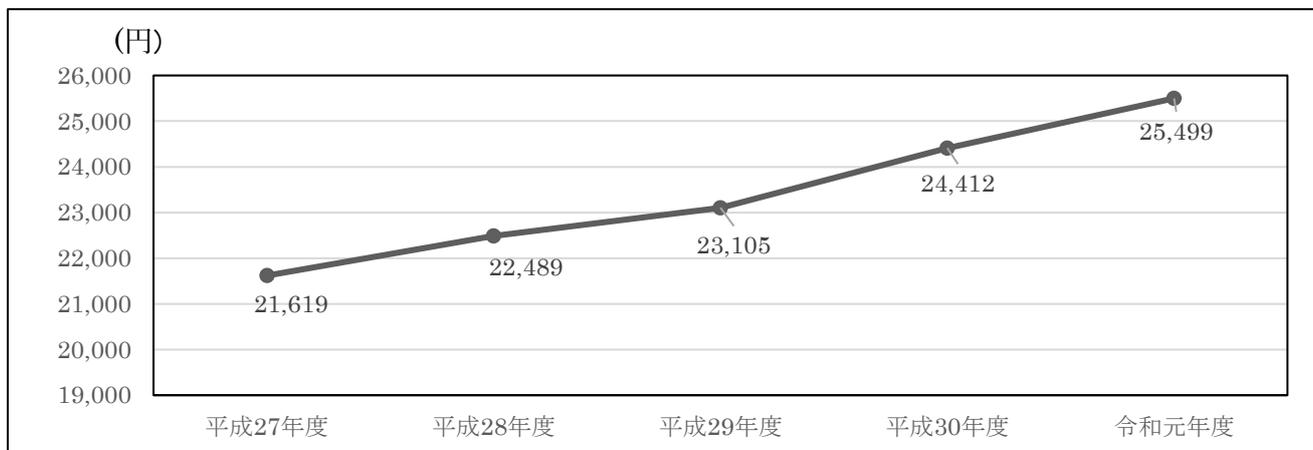


●年度別比較表

		平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
入院	延べ患者数	24,428	26,189	26,155	23,850	25,587
	1日平均	66.7	71.8	71.7	65.3	69.9
	病床稼働率	80.4	86.4	86.3	78.7	85.3
	平均在院日数	56.2	57.4	58.4	62.0	62.3
	1人1日当り入院診療費	21,619	22,489	23,105	24,412	25,499
外来	延患者数	21,684	20,290	19,575	18,716	17,959
	1日平均	80.6	75.1	72.5	69.8	70.7
	平均通院日数	12.3	12.9	13.0	12.7	15.0
	1人1日当り外来診療費	5,913	6,122	6,504	6,124	6,350

イ 診療科別入院診療費

● 1人1日当り入院稼働額の推移

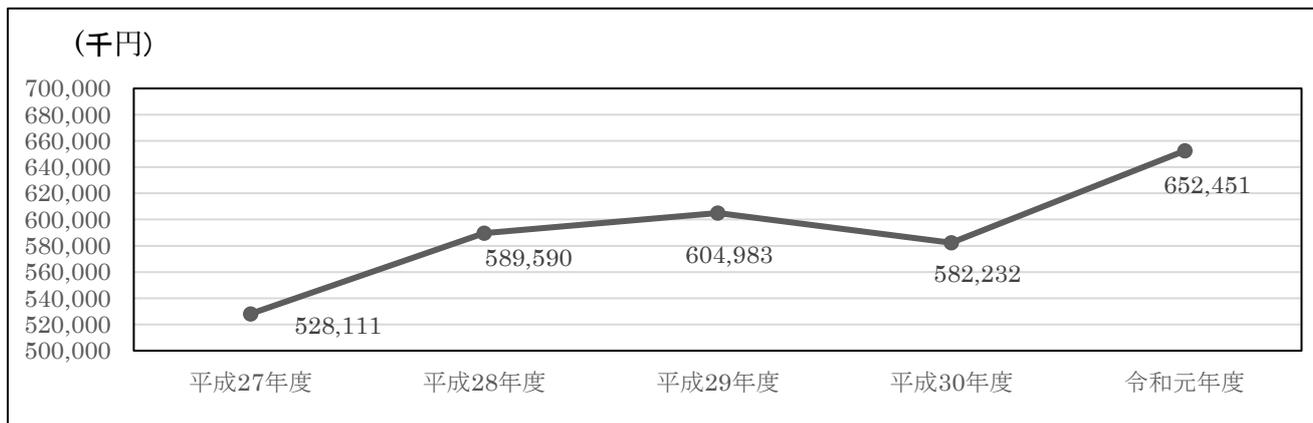


● 1人1日当り入院稼働額

(円)

	平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
内科	21,625	22,074	22,898	24,060	25,183
外科	22,406	-	-	-	-
整形外科	21,561	25,621	25,820	27,547	30,379
平均	21,619	22,489	23,105	24,412	25,499

● 診療科別入院診療費の推移



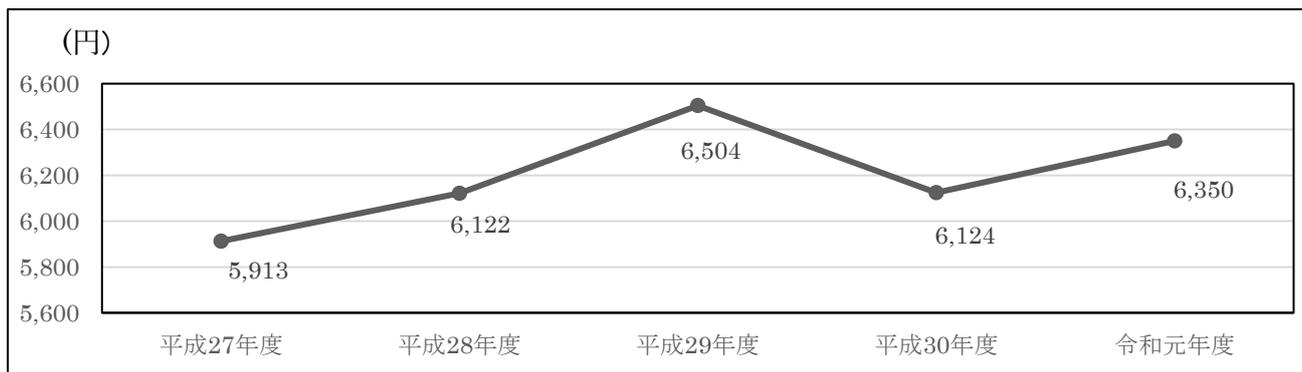
● 診療科別入院診療費

(単位：千円)

	平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
内科	434,635	506,526	551,251	515,953	605,182
外科	3,697	-	-	-	-
整形外科	89,779	83,064	53,732	66,279	47,269
合計	528,111	589,590	604,983	582,232	652,451

ウ 診療科別外来診療費

● 1人1日当り外来稼働額の推移



● 1人1日当り外来稼働額

(円)

	平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
内科	7,445	7,742	8,523	8,221	8,384
外科	5,831	5,568	4,767	4,553	4,556
整形外科	4,167	4,261	4,212	4,456	4,076
眼科	4,682	5,080	4,606	4,884	4,288
泌尿器科	-	-	4,317	2,851	3,320
平均	5,913	6,122	6,504	6,124	6,350

● 診療科別外来診療費の推移



● 診療科別外来診療費

(千円)

	平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
内科	79,746	79,844	87,384	79,304	78,979
外科	8,718	6,364	4,209	3,260	2,570
整形外科	37,437	35,785	33,511	35,073	30,605
眼科	2,308	2,215	2,036	1,934	1,510
泌尿器科	-	-	117	248	379
平均	128,209	124,208	127,317	119,819	114,042

5) 救急医療の現況 (時間外・外・深夜)

	時間内						時間外						深夜						救急車 計	その他 計	合計
	交通事故		災害		その他		交通事故		災害		その他		交通事故		災害		その他				
	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他	救急車	その他			
4月 入院					1						3	1							4	1	5
外来					1						2	4							3	4	7
5月 入院					1						2	1						1	3	2	5
外来					2						2	45						2	6	46	52
6月 入院					6						3	1						1	10	1	11
外来											2	1						1	3	2	5
7月 入院					4						2	2							6	2	8
外来					3						2	11						1	6	11	17
8月 入院																					
外来					5						3	16						1	9	16	25
9月 入院					3						2								5		5
外来					2						2	21							4	21	25
10月 入院					6							1							6	1	7
外来					2						1	16							3	16	19
11月 入院					3						4	2						1	8	2	10
外来					2						4	11							6	11	17
12月 入院											2								2		2
外来					3						1	26						1	5	26	31
1月 入院					3						1	3							4	4	8
外来					1						3	74						1	4	74	78
2月 入院					2						2								4		4
外来											6	9							6	10	16
3月 入院					2						2							1	4		4
外来					2						2	4							4	6	10
入院 計					31						23	11						2	56	13	69
外来 計					23						30	238						6	59	243	302
合 計					54						53	249						8	115	256	371
(再掲)時間帯別合計	54						302						15						371		

2. 経営状況

(1) 損益計算書

(単位：千円)

支 出		収 入	
医業費用	921,172	医業収益	794,477
材料費	66,937	入院診療収益	652,986
給与費	644,674	室料差額収益	589
委託費	85,631	外来診療収益	114,122
設備関係費	75,421	保健予防活動収益	18,183
研究研修費	2,116	受託検査・施設利用収益	360
経費	46,391	その他の医業収益	9,091
		保険等査定減	△855
医業外費用	3,887	医業外収益	130,676
医療奉仕費用	28,700	医療社会事業収益	35,115
付帯事業費用	56,774	付帯事業収益	71,773
特別損失	2,469	特別利益	0
法人税等	4		
予備費	0		
損益	19,036		
合 計	1,032,040	合 計	1,032,040

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 純 資 産	
流動資産	522,511	流動負債	977,679
固定資産	614,673	固定負債	1,417,633
有形固定資産	367,268	基本金	12,131
無形固定資産	10,325	補助金等	0
その他の資産	237,081	利益剰余金	△1,289,295
		有価証券評価差額	0
合 計	1,137,185	合 計	1,137,185

(3) 収益的収入及び支出の推移 (過去 3 ヶ年)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収益的収入合計	964,277	954,059	1,032,040
収益的支出合計	964,117	983,021	1,013,005
収入支出差引額	160	△28,962	19,036

3. 労働災害事故状況

(単位：人)

災害区分		医療職 (一)	医療職 (二)	医療職 (三)	一般職 (一)	一般職 (二)	福祉職	計
業務災害	針刺			1				1
	その他			1				1
通勤災害								
合 計				2				2

V 職員活動

1. 福利厚生

川西赤十字病院互助会（駒の会）

1. 役員名簿

【会 長】 大和 眞史（院長）

【副会長】 米倉 宏明（副院長） 小林 雅弘（事務部長）

【理 事】 庶務：森泉 ゆか（薬剤部調剤課） 会計：依田 富士子（事務部医事課）

文化趣味厚生部/体育振興部

翠川 郁代（看護部療養病棟） 中村 美和（看護部療養病棟）

田中 かおり（医療社会事業部地域包括支援センター）

病院祭/榊祭り実行部

木次 弥生（看護部一般病棟） 加藤 綾香（看護部一般病棟）

2. 事業報告

実施月日	内容	場所	出席者数	担当
平成31年 1月10日	新旧引継会	会議室	13名	庶務理事
1月25日	定期総会	多目的室	81名 (委任41名)	庶務理事
3月20日	送別会	佐久ホテル	58名	文化趣味厚生部
4月12日	歓迎会	佐久一万里ホテル	61名	文化趣味厚生部
令和元年 6月14日	ボーリング大会	佐久プラザボウル	20名	体育振興部
7月30日 8月2日	榊祭り民謡流し練習	リハビリ室	3回実施	病院祭実行部
8月9日				
8月15日	榊祭り（出陣式）	会議室	46名	病院祭実行部
10月26日	【中止】病院祭			主催 病院 共催 病院祭実行部
12月20日	【中止】忘年会			文化趣味厚生部
令和2年 1月9日	新旧理事引継会	多目的室	10名	庶務部

2. 教育

職員学習会

開催月日	会場	時間	内容	講演者(委員会等)	備考	参加人数
4月	-	-	開催なし	-	-	-
5月	16日	17:00~ 18:00	2019 経営改善のポイント 医療施設の経営の健全化	大和院長		52名
			就業規則の改正 有給休暇の取得	総務課		
5月	30日	17:30~ 18:20	倫理的課題における病院の課題	日本赤十字社 医療事業推進本部 矢野 真氏		51名
			若月イズムと佐久病院、佐久の 医療状況	佐久総合病院 統括院長 伊澤 敏氏		
6月	6日	16:30~ 17:15	感染防止対策の基本	【院内感染対策委員会】 水内看護部長	原則 全員参加	45名
	10日					13名
	13日					25名
7月	11日	17:00~ 17:45	インシデントレポート報告等	【MRM委員会】 専任医療安全管理者 東條課長	原則 全員参加	46名
	18日					19名
8月	22日	17:00~ 17:40	交通法規等	【安全衛生委員会】 佐久警察署 交通課 竜野氏		42名
9月	19日	17:00~ 17:40	I Cカードの取扱い 週休二日にかかる勤務時間	総務課		37名
10月	1日	17:00~ 18:00	摂食嚥下の評価の流れ	佐久総合病院 摂食嚥下認定看護師 上野静香氏		37名
	21日	16:45~ 17:15	インフルエンザ対策	【院内感染対策委員会】 水内看護部長	原則 全員参加	49名
	24日					19名
11月	1日	16:30~ 17:15	下半期へのK i c k - o f f	大和院長		44名
	12日	16:30~ 17:30	嚥下障害に対する検査とアプ ローチ	諏訪赤十字病院 リハビリテーション部長 巨島文子部長		40名
	14日	16:45~ 17:15	インスリン注射のリスクマネ ージメント	【MRM委員会】 日本イライラ(株)関東支店 福岡洋氏	原則 全員参加	44名
	21日					25名
12月	9日	16:30~ 17:15	台風19号救護班活動報告	派遣救護班員 依田・磯貝・梅澤		40名
1月	16日	16:30~ 17:15	接遇	【患者サービス委員会】 患者サービス委員会 幹事		
	28日	16:15~ 17:15	メンタルヘルス研修	【安全衛生委員会】 ワークポート野岸の丘 新津薫氏		
2月	10日	16:30~ 17:15	臨床倫理	【医の倫理委員会】 水内看護部長		40名
	20日	16:30~ 17:00	褥瘡対策	【褥瘡対策チーム】 ニュートリー(株) 小林宏之氏		
3月			開催なし			



神祭り



煙の中で避難訓練。
職場体験の中学生も参加



新型コロナウイルス感染症対策訓練

VI 学術実績

講演・教育

氏名	講演	会場
大和眞史	動脈硬化の画像診断、その最先端と日常診療での選択から	伊那循環器研究会 (伊那市) 2019年6月21日
大和眞史	医療人の育成と病院経営、働き方改革の時代の中で	第26回自治体病院研究会 (長野市) 2019年11月9日
大和眞史	川西赤十字病院の役割と熱い思い ——再編病院への対応と地域住民の思いに寄り添って——	NPO 法人未来工房もちづき・福祉部会地域医療学習会 (佐久市) 2019年11月15日
平川香苗子 湯本和香奈 堀内美智子 岩崎恭子	地域包括ケア病床にレスパイト入院した患者の介護者が介護を継続するために大切にしている事	第50回日本看護学会 学術集会 慢性期看護 (鹿児島市) 2019年11月14・15日
笹崎早織 高橋まり子 山口喜久美 土屋由美子	病棟看護師と訪問看護師の退院前カンファレンスの検討	第50回日本看護学会 学術集会在宅看護 (宇都宮市) 2019年9月13・14日
秋和好子 横山まゆみ	人生の掛け軸掲示による病棟スタッフの意思疎通困難患者に対する関りの変化	第55回日本赤十字社 医学会総会 (広島市) 2019年10月17・18日
水内豊	佐久市立国保浅間総合病院 第59回院内感染対策講演会 「赤十字医療施設における感染管理と手指衛生の重要性」	佐久市立国保浅間総合病院 (佐久市) 2019年9月27日
水内豊	川西地区の介護福祉施設への出前講座(3施設) 「感染対策の基本」	2019年10月3日 2019年11月7日 2019年11月19日
水内豊	令和元年度東信 ICT ネットワーク 実践報告 「日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 長野ワーキンググループの活動について」	東信 ICT ネットワーク講演会 (小諸市) 2020年1月11日
水内豊	第35回日本環境感染学会総会・学術集会 座長	パシフィコ横浜 (横浜市) 2020年2月14・15日
水内豊	長野県立望月高等学校 介護福祉基礎授業担当(2年生)	望月高校 (佐久市) 毎週月曜日2時限3時限

論文・著書（共著を含む）

氏名	論文名	掲載
大和眞史	Frequency and prognostic impact of intravascular imaging-guided urgent percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction: results from J-MINUET	Heart and Vessels. 2019
大和眞史	Okuno T, Aoki J, Tanabe K, et al; Association of onset-season with characteristics and long-term outcomes in acute myocardial infarction patients: results from the Japanese registry of acute myocardial infarction diagnosed by universal definition (J-MINUET) substudy	Heart and Vessels. 2019
大和眞史	Okuno T, Aoki J, Tanabe K, et al; Admission Heart Rate Is a Determinant of Effectiveness of Beta-Blockers in Acute Myocardial Infarction Patients.	Circulation Journal 2019
大和眞史	Wada H, Ogita M, Suwa S, et al; Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: a Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) substudy.	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care 2020
大和眞史	心房細動に対する緊急ペーシング指針	岡元和文編著「救急・集中治療 最新ガイドライン2020-2021」 p 288-290 2020
中村美紀 成澤正子	2型糖尿病男性の寄り合いに参加した時の食事に対する困難	川西赤十字病院看護部 看護研究集録 第18号 (令和元年度)
井出春恵 木次弥生 小泉由香里 滝沢亜矢	入院直後訪問の体験がプライマリーナースの退院支援に及ぼす影響	
牧野綾子 興石恵 相良真由美	療養病棟における看護師と看護補助者の担当制導入を試みて—協働の現状と課題—	

VII 災害救護

(1) 令和元年度 登録班員

	職種	氏名	所属部署
第1救護班	班 長	大和 眞史	院長
	看護師長	東條 美恵	医療社会事業課
	看 護 師	小泉 由香理	一般病棟
	看 護 師	牧野 綾子	療養病棟
	主 事	依田 敦史	リハビリテーション科
	主 事	梅澤 達也	総務課
第2救護班	班 長	米倉 宏明	副院長
	看護師長	翠川 郁代	療養病棟
	看 護 師	中村 美紀	外来
	看 護 師	榎沢 みどり	一般病棟
	主 事	磯貝 和也	リハビリテーション科
	主 事	北沢 俊和	医事課
救護担当(統括)		田中 優彦	総務課

(2) 活動

「令和元年台風19号災害」

①第1救護班（派遣期間：令和元年10月30日～令和元年11月1日）

職種	氏名	所属部署（職種）
班 長	近藤 泰之	内科副部長（医師）
看護師長	翠川 郁代	療養看護師長（看護師）
看 護 師	小泉 由香理	一療養病棟看護係長（看護師）
看 護 師	甘利 雅子	一般看病棟（看護師）
主 事	依田 敦史	リハビリ科（理学療法士）
主 事	梅澤 達也	総務課（事務員）

患者数（令和元年10月30日）

	性別		計	重症度		
	男性	女性		重症	中等症	軽症
乳幼児	0	0	0	0	0	0
成人	12	11	23	0	0	23
高齢者	5	4	9	0	0	9
計	17	15	32	0	0	32

患者数（令和元年 10 月 31 日）

	性別		計	重症度		
	男性	女性		重症	中等症	軽症
乳幼児	0	0	0	0	0	0
成人	13	16	29	1	0	28
高齢者	5	7	12	0	0	12
計	18	23	41	1	0	40

患者数（令和元年 11 月 1 日）

	性別		計	重症度		
	男性	女性		重症	中等症	軽症
乳幼児	0	0	0	0	0	0
成人	11	11	22	0	0	22
高齢者	6	3	9	0	0	9
計	17	14	31	0	0	31

②こころのケア班（派遣期間：令和元年 11 月 17 日～令和元年 11 月 19 日）

職種	氏名	所属部署（職種）
看護師	井出 春恵	一般病棟（看護師）
看護師	牧野 綾子	療養病棟（看護師）
主 事	磯貝 和也	リハビリ科（作業療法士）

対応者数（令和元年 11 月 17 日）

	性別		計
	男性	女性	
乳幼児	0	0	0
成人	1	0	1
高齢者	3	0	3
計	4	0	4

対応者数（令和元年 11 月 18 日）

	性別		計
	男性	女性	
乳幼児	0	0	0
成人	8	12	20
高齢者	2	4	6
計	10	16	26

対応者数（令和元年 11 月 19 日）

	性別		計
	男性	女性	
乳幼児	0	1	1
成人	0	6	6
高齢者	4	1	5
計	4	8	12



令和元年台風 19 号災害
須坂市北部体育館で活動する救護班。

令和元年度
川西赤十字病院
年報

発行者 川西赤十字病院 院長 大和 眞史
〒384-2292 長野県佐久市望月 318

編集 年報編集委員会
広報委員会

委員 年報編集委員会
委員長 小林 雅弘
幹事 田中 優彦 濱 英明
委員 宮島 素子 水内 豊 依田 富士子
笹崎 沙織 藤巻 千恵子

広報委員会

委員長 小林 雅弘
幹事 北澤 俊和 梅澤 達也
委員 三井 宏映 池田 緑 平林 美樹
南澤 礼佳 島崎 茂樹

